

# SHIBUYA CITY DASHBOARD

## デザインガイドライン

SHIBUYA CITY DASHBOARD Design Guidelines

2025.8.8更新



## ご覧いただくにあたって

本ガイドラインは、SHIBUYA CITY DASHBOARDの運用・改修・機能追加などにおいて、庁内で実際に活用している資料です。

私たちの取組をできるだけオープンにし、関心を持っていただけるきっかけになればという思いから、参考資料として公開しています。

なお、本ガイドライン内では、SHIBUYA CITY DASHBOARDで使用している「Power BIテンプレート」や「渋谷区ロゴ」が登場しますが、これらのデータは公開しておりません。SHIBUYA CITY DASHBOARDをそのまま再現・作成いただくことを目的としたものではなく、あくまで考え方や設計の参考としてご覧いただくものです。

1. はじめに 4

SHIBUYA CITY DASHBOARDとは 5

制作背景 6

対象範囲 7

読み進め方 8

2. トーン＆マナー 9

テンプレート 10

ベースカラー 11

テーマカラー 12

フォント 13

3. 構成 14

全体 15

解像度 16

ヘッダー 17

表紙 18

可視化ページ 19

ヘルプページ 20

マウスオーバー機能 21

テンプレートの使い分け 22

4. 可視化の表現 23

共通ルール 24

スライサーの共通ルール 26

スライサーの使い分け 27

ブラッシュアップの可能性 28

基本的なビジュアルビルド 29

アイコン表現 30

テーブル表現 31

色使いのパターン 32

1方向スケールカラー 33

2方向スケールカラー 34

カテゴリカラー 35

アクセントカラー 36

ポジネガカラー 37

+α 特殊カラー 38

5. ライティング 39

共通ルール 40

可視化ページの概要文 41

6. フォントサイズ・カラー調整 42

共通ルール 43

フォントサイズの使い分け 45

ヘッダー 46

表紙 47

可視化ページ 48

ヘルプページ 49

7. 位置調整 50

パディングの重要性 51

共通ルール 52

ヘッダー 53

表紙 54

可視化ページ 55

ヘルプページ 56

8. 公開前の仕上げ 57

チェックリスト 58



# 1. はじめに

Introduction



# 1. はじめに | SHIBUYA CITY DASHBOARDとは

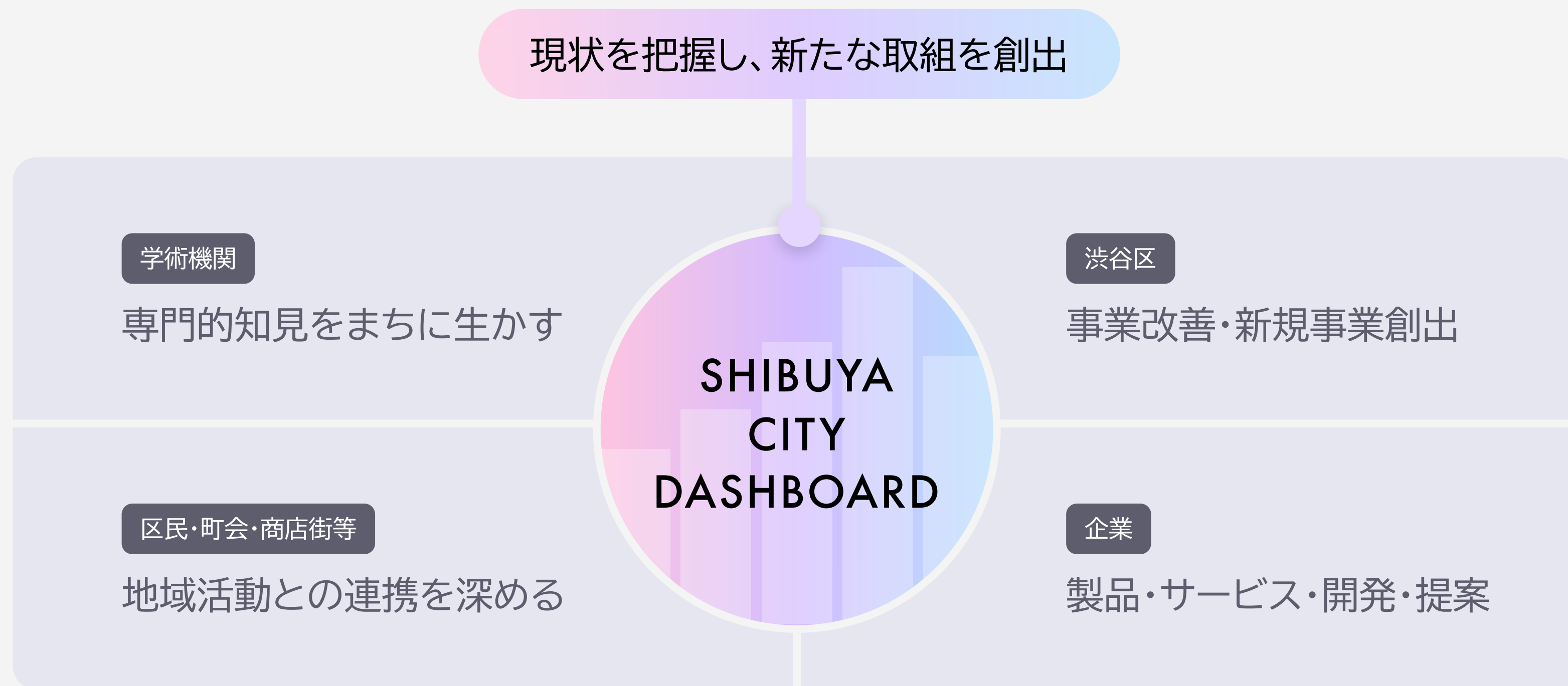
「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」の実現に向けて、私たちは産官学民と連携し、進化し続けるテクノロジーを活用しながら、行政・公共サービスの質・量を向上させていく必要があります。

しかし、そもそも「区の現状の把握ができない」「産官学民に現状や課題を共有できない」という問題がありました。区民のニーズが多様化するとともに、課題も複雑なものになっていきます。限られたリソースを有効活用するためにも、データに基づいた丁寧な整理とその共有は欠かせません。

そこで生まれたのが「SHIBUYA CITY DASHBOARD」です。

渋谷区の現状をわかりやすく可視化。区で所持しているデータだけでなく、民間企業との協働によって得られたデータまで網羅しています。

SHIBUYA CITY DASHBOARDは、渋谷区に関わるすべての人に公開しています。産官学民を含む多様な主体が積極的に活用・共有することで、課題解決や施策立案への参画を促します。



# 1. はじめに | 制作背景

本ガイドラインは、2024年度に渋谷区が実施した「シティダッシュボード及びオープンデータ開発・運用業務委託」の一環として、受託者であるインフォ・ラウンジ株式会社が作成したものです。

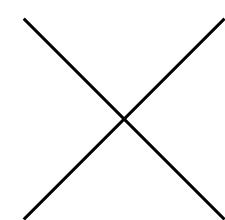
ダッシュボードの整備にあたり、利用者視点で、統一感や利便性のあるUI/UXを設計するとともにアクセシビリティに配慮したデザインにアップデートをしました。

その過程で、今後の運用・改修・機能追加の際に、複数の関係者が同じ設計思想に基づいて判断・制作を行えるようにするための共通基盤として、本ガイドラインを策定しています。

主には、SHIBUYA CITY DASHBOARDの開発・運用・改善に関わる関係者(行政職員、委託事業者、デザイナー、エンジニア等)による以下のような場面での活用を想定しています。

- ・ 新たにUIを設計・追加する際の方針確認
- ・ 既存UIの改修にあたっての整合性チェック
- ・ 外部委託や後続事業者への仕様共有・引き継ぎ
- ・ ガイドラインに基づいた市民・関係者との合意形成や説明材料

本ガイドラインを通じて、SHIBUYA CITY DASHBOARDが持続可能かつ発展的に運用されていくことを期待しています。



INFO LOUNGE

※UI/UX…UI/UXは、画面の見た目や使いやすさ(UI)と、使って感じる体験の心地よさ(UX)を指します。操作が分かりやすく、スムーズに目的を達成できる設計にすることで、利用者にとってストレスのない快適な体験を提供します。

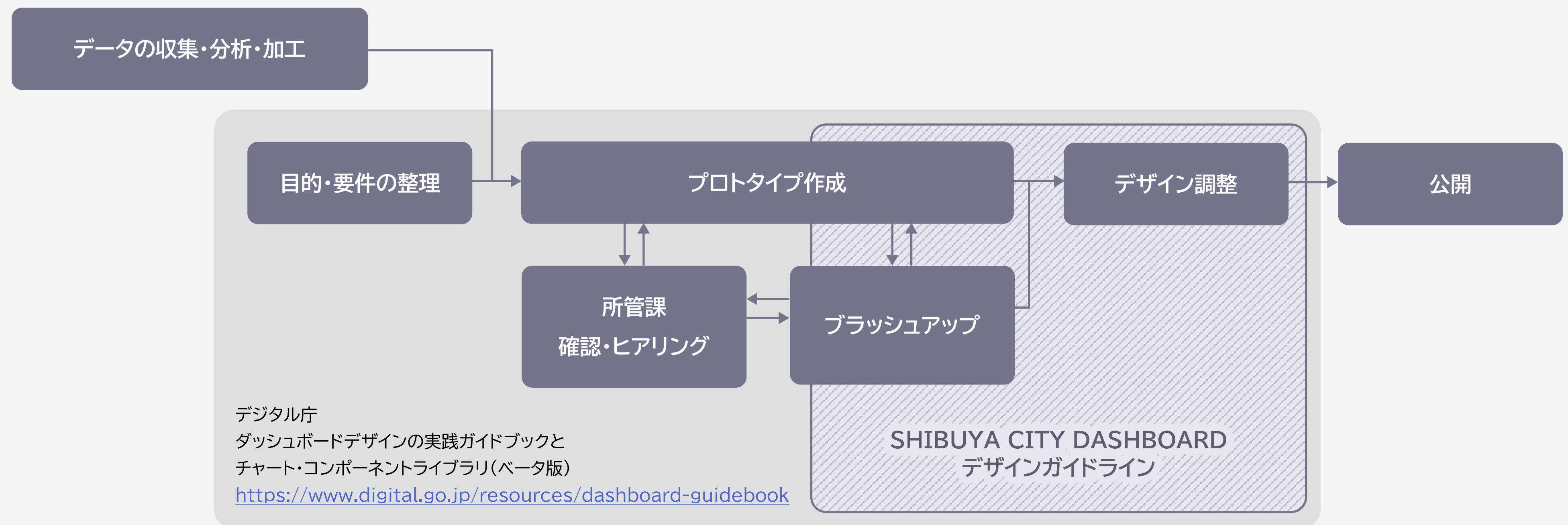
# 1. はじめに | 対象範囲

本ガイドラインは、SHIBUYA CITY DASHBOARD作成における「デザイン調整」を対象範囲としています。非デザイナーでも見やすく美しいSHIBUYA CITY DASHBOARDを作成できることを目的とし、色・配置などのヒントを示します。

デザイン調整はダッシュボードの後半の作業です。プロトタイプ初期段階でデザイン調整を詰めてしまうと、所管課の確認・ヒアリング後の修正工数がかさんでしまう場合があります。プロトタイプがある程度まとまってきた段階で着手をしてください。

また、ダッシュボードデザインの基本的な考え方についてはあまり触れていません。基本的な考え方を理解するためには、デジタル庁の下記資料にも目を通すことを推奨します。

デジタル庁 ダッシュボードデザインの実践ガイドブックとチャート・コンポーネントライブラリ(ベータ版) : <https://www.digital.go.jp/resources/dashboard-guidebook>

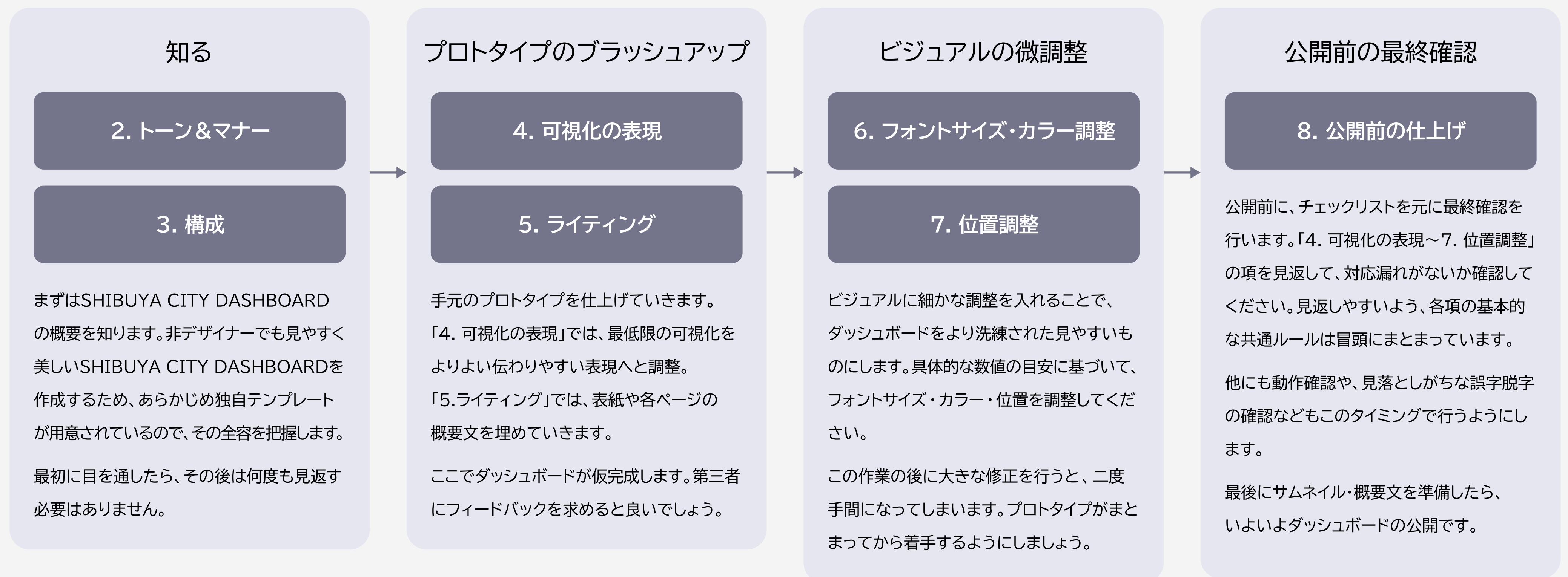




# 1. はじめに | 読み進め方

本ガイドラインは、いくつかの段階に分けてデザインガイド内容を示しています。  
大きく分けて、「知る → 内容のブラッシュアップ → ビジュアルの微調整 → 公開前の最終確認」の4段階です。

後半に行くほど具体的な話になるため、最初に目を通して全てを理解する必要はありません。全体に軽く目を通したあと、ダッシュボードの作成段階にあわせて、該当ページの詳しい説明を参考にしてください。



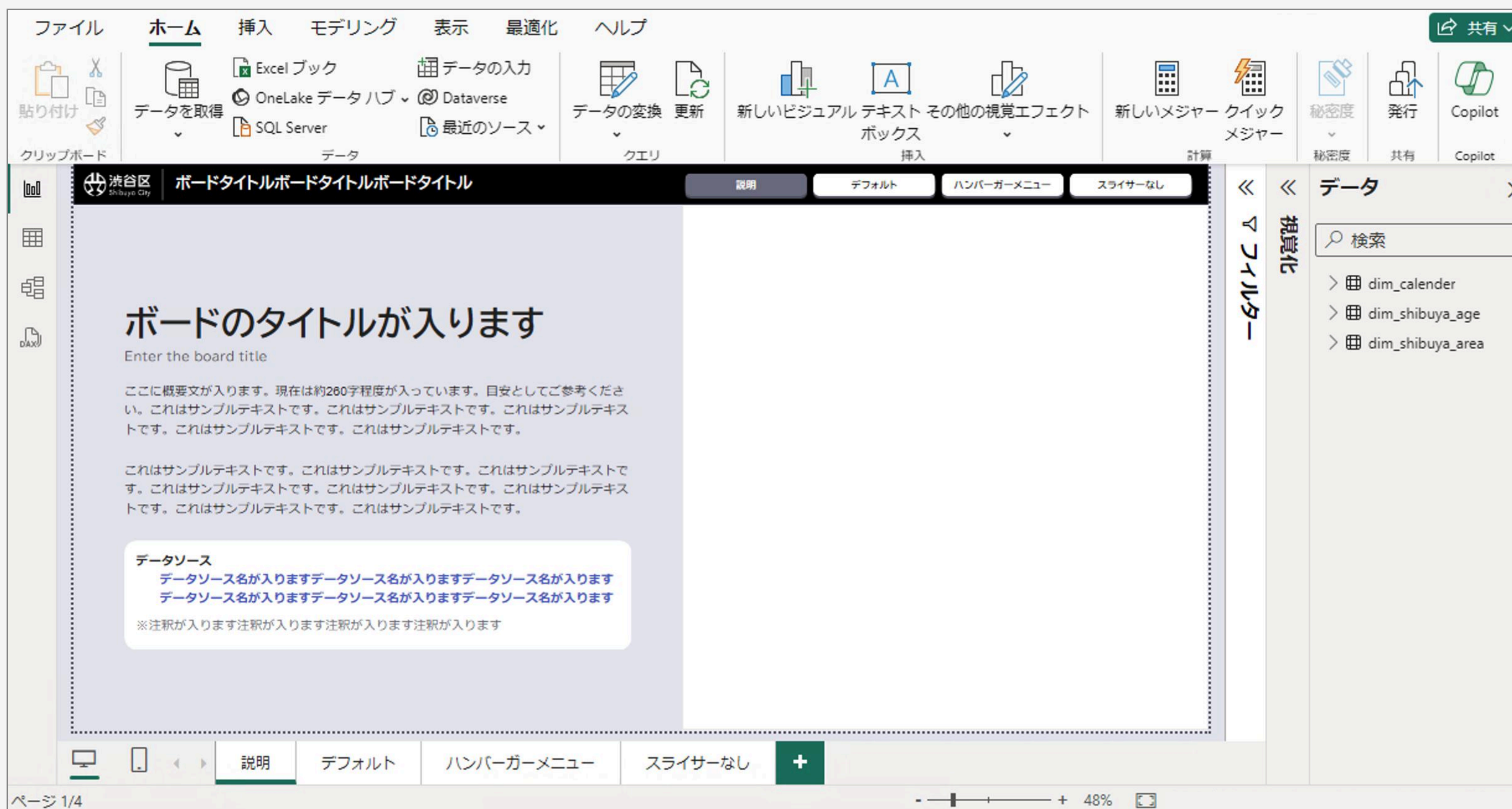
## 2. トーン & マナー

Tone & Manner



## 2. トーン&マナー | テンプレート

全体に統一感を持たせるために使用しているPowerBIデザインテンプレートを紹介します。テンプレートの構成や表現の工夫を参照いただくことで、「2.トーン&マナー」および「3.構成」の内容がより具体的にイメージしやすくなります。



※トーン&マナー…デザインやコミュニケーションにおいて、一貫性を持った表現スタイルや雰囲気を指す用語です。トーン&マナーを統一することで、ブランドやプロジェクトが視覚的、感覚的に一貫性を保ち、受け手に明確な印象を与えることができます。

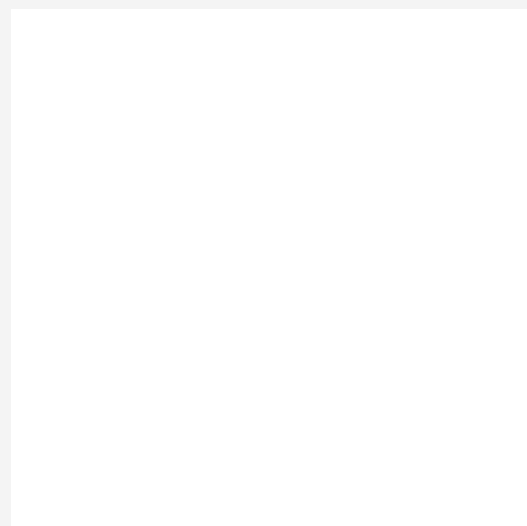
## 2. トーン&マナー | ベースカラー

SHIBUYA CITY DASHBOARDのベースカラーは下記6色で構成されます。

SHIBUYA CITY DASHBOARDが掲載される渋谷区ポータルサイトと統一感を  
持たせるため、渋谷区ポータルサイトのトーン&マナーをある程度踏襲しています。

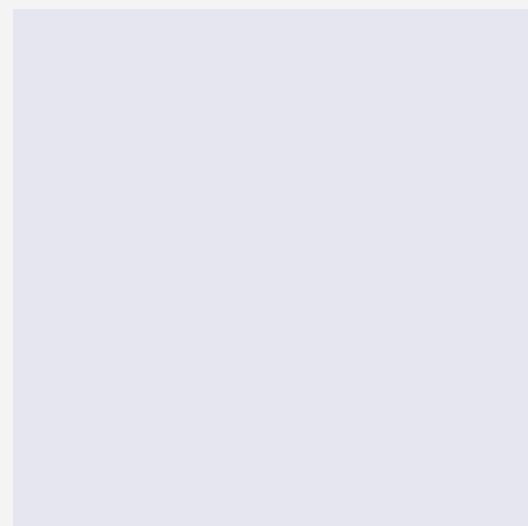
渋谷区公式サイト | 渋谷区ポータル：<https://www.city.shibuya.tokyo.jp/>

背景1



White  
#FFFFFF

背景2



Light Gray  
#E6E6F0

装飾



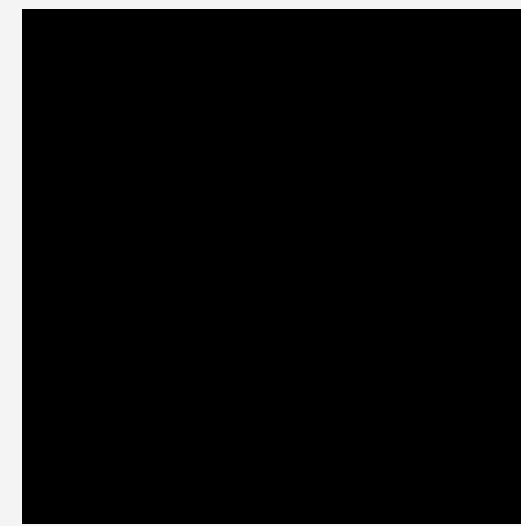
Deep Gray  
#74748A

補足の文字



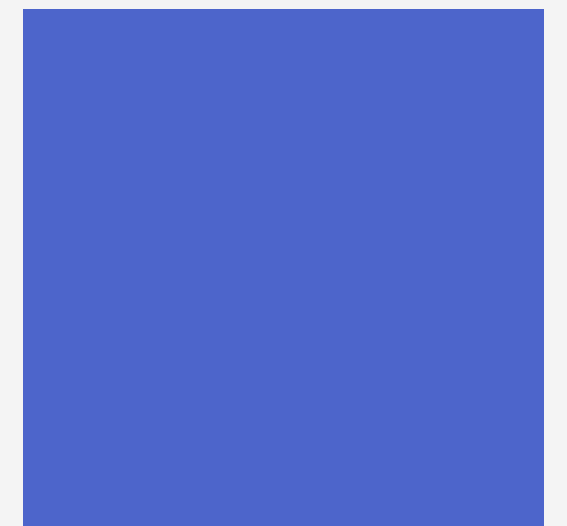
More Deep Gray  
#5D5D6E

基本の文字



Black  
#000000

リンクの文字



Link Blue  
#4D65CB

# 2. トーン&マナー | テーマカラー

テンプレートにはあらかじめテーマカラーが読み込まれています。  
これらが可視化に自動で割り当てられます。

指定されているのは100色までになります。よって凡例の数は100を超えると、  
想定外の配色が行われるので注意してください。

パレット主要8色:



可視化において自動割り当てされる100色:



ただ、可視化において多くの色を使うことは本来推奨されていません。  
SHIBUYA CITY DASHBOARDにおいては、市町村など数多くの凡例を取り扱う  
場合があるため、そういった場合にもトーン&マナーがある程度維持されるように  
100色もの色が選定されました。

必要に応じて、よりよい可視化のために手動でカラーコードを変更するようにして  
ください。(参考：p32「4. 可視化の表現 | 色使いのパターン」)



## 2. トーン&マナー | フォント

ユニバーサルデザインフォントである「BIZ UDP Gothic」を適用しています。

ユニバーサルデザインフォントとは、誰にとっても読みやすく、誤読しにくいように設計されたフォントのことです。視認性や判別性に配慮されており、高齢の方や視覚に不安のある方でも安心して読むことができるとされています。

「BIZ UDP Gothic」はGoogle Fontsよりダウンロードが可能です。

BIZ UDPGothic - Google Fonts :

<https://fonts.google.com/specimen/BIZ+UDPGothic>

# BIZ UDP Gothic Bold

1234567890 ABCDEFG abcdefg 東京都渋谷区 とうきょうとしがやく

# BIZ UDP Gothic Regular

1234567890 ABCDEFG abcdefg 東京都渋谷区 とうきょうとしがやく

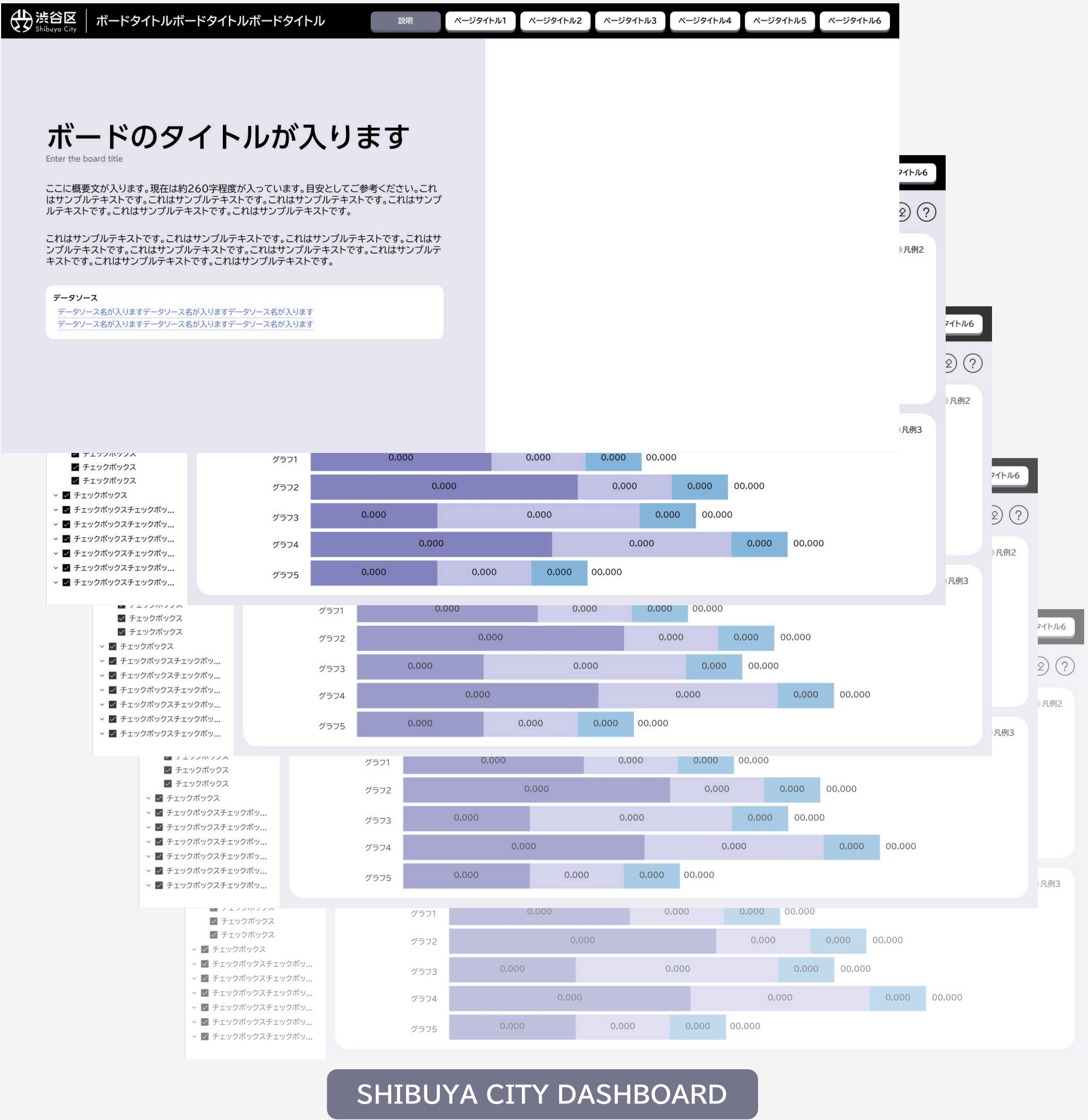
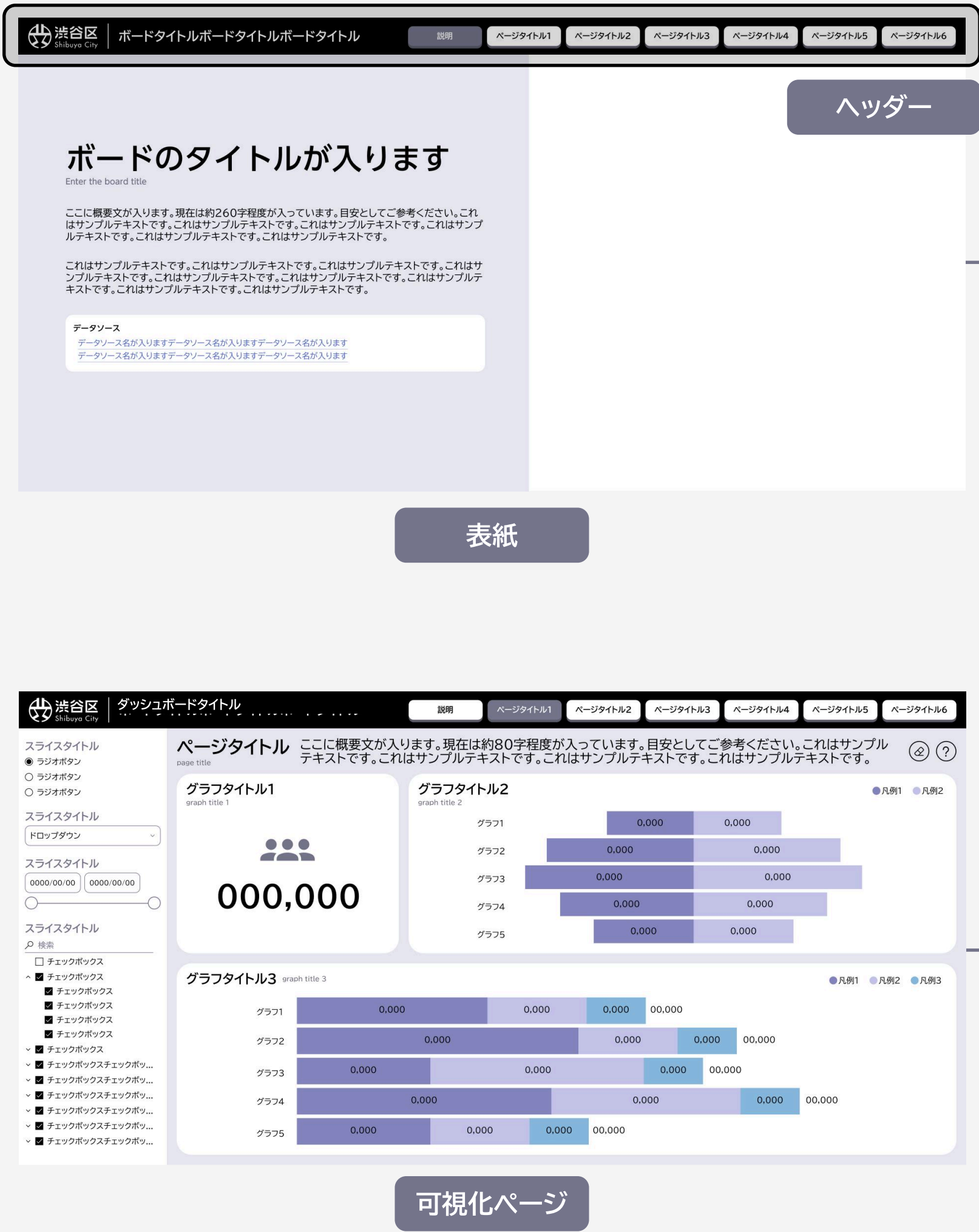
# 3. 構成

Structure

# 3. 構成 | 全体

SHIBUYA CITY DASHBOARDは1ページの「表紙」と、1ページもしくは2ページ以上の「可視化ページ」で構成されます。全ページには各ページへ遷移するボタンを含む共通ヘッダーを使用し、各ページへの遷移をわかりやすくします。

可視化ページ数に制限はありませんが、多すぎると一つ一つが埋もれてしまい、利用者に見てもらえないリスクが生じます。構成はきちんと洗練させるようにします。



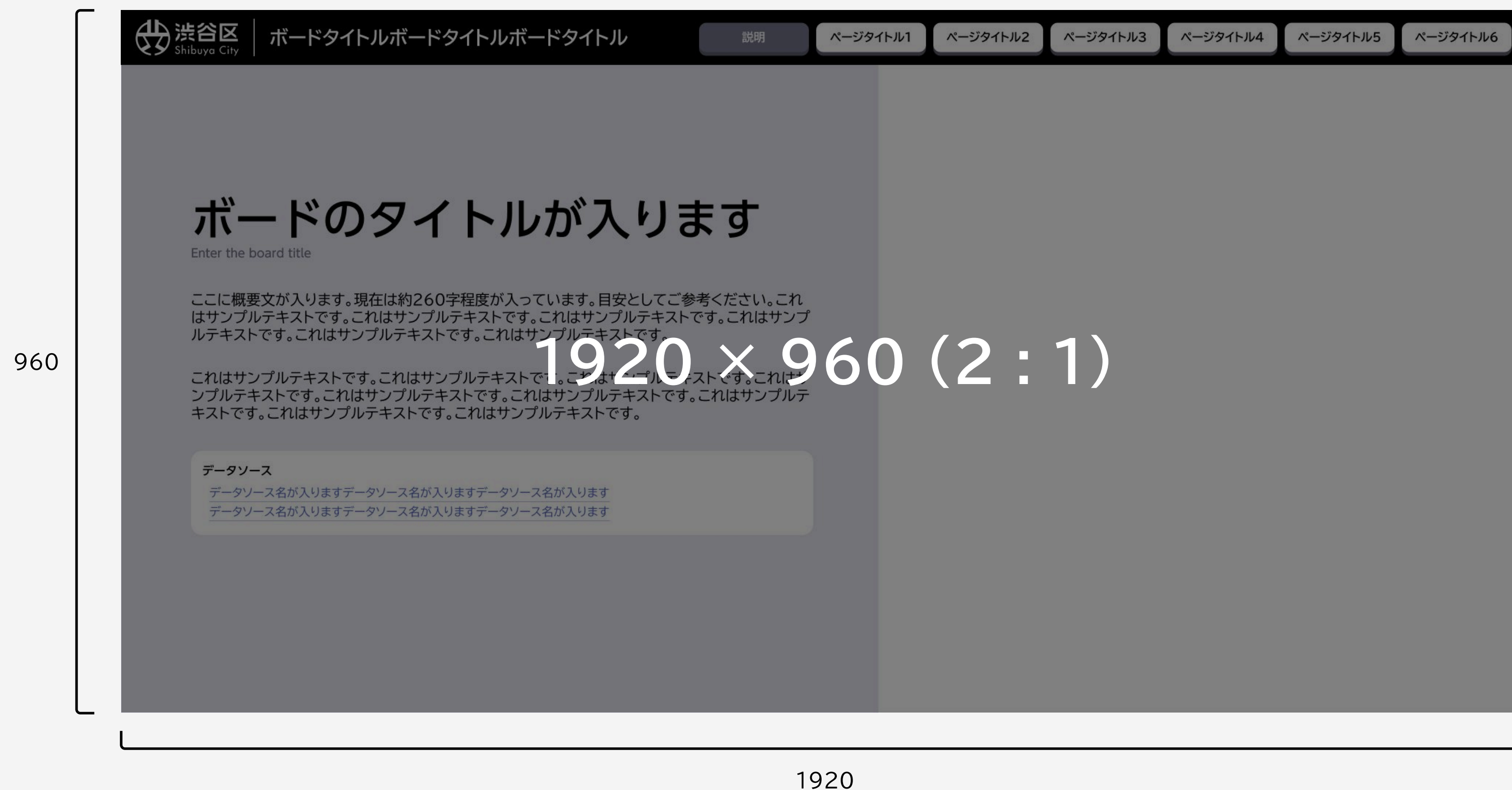


## 3. 構成 | 解像度

テンプレートの解像度は、幅1920×高さ960に設定されています。本ガイドラインでは、この解像度を前提とした目安を提示しています。

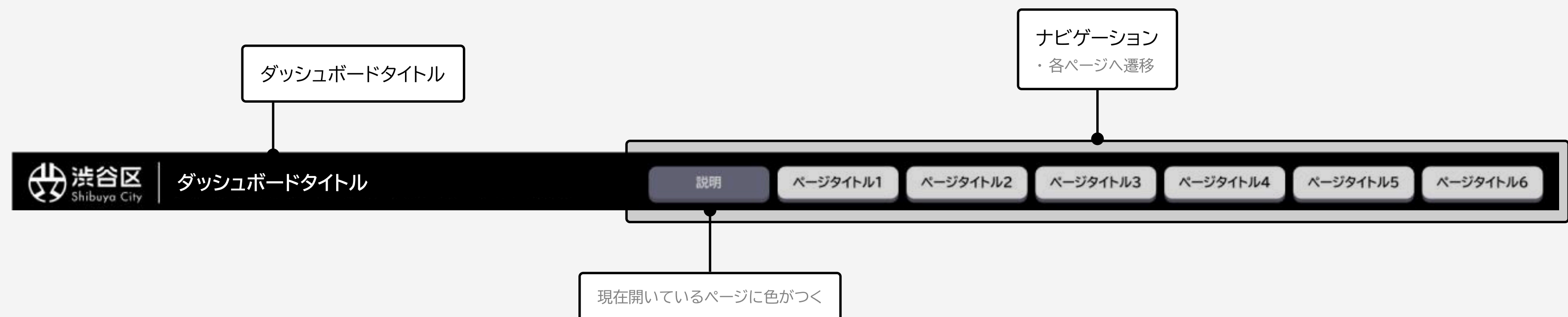
特に、フォントサイズにおいては解像度の変更によって見え方が変わってしまいます。解像度のむやみな変更は避けてください。

情報量が多く1画面に収まりきらない場合は、例外的に高さのみ拡張する対応をとります。(参考：p24「4. 可視化の表現 | 共通ルール」)



### 3. 構成 | ヘッダー

全ページには共通のヘッダーが配置されます。渋谷区ロゴ・ダッシュボードのタイトル・各ページへ遷移するボタンの3要素で構成されています。





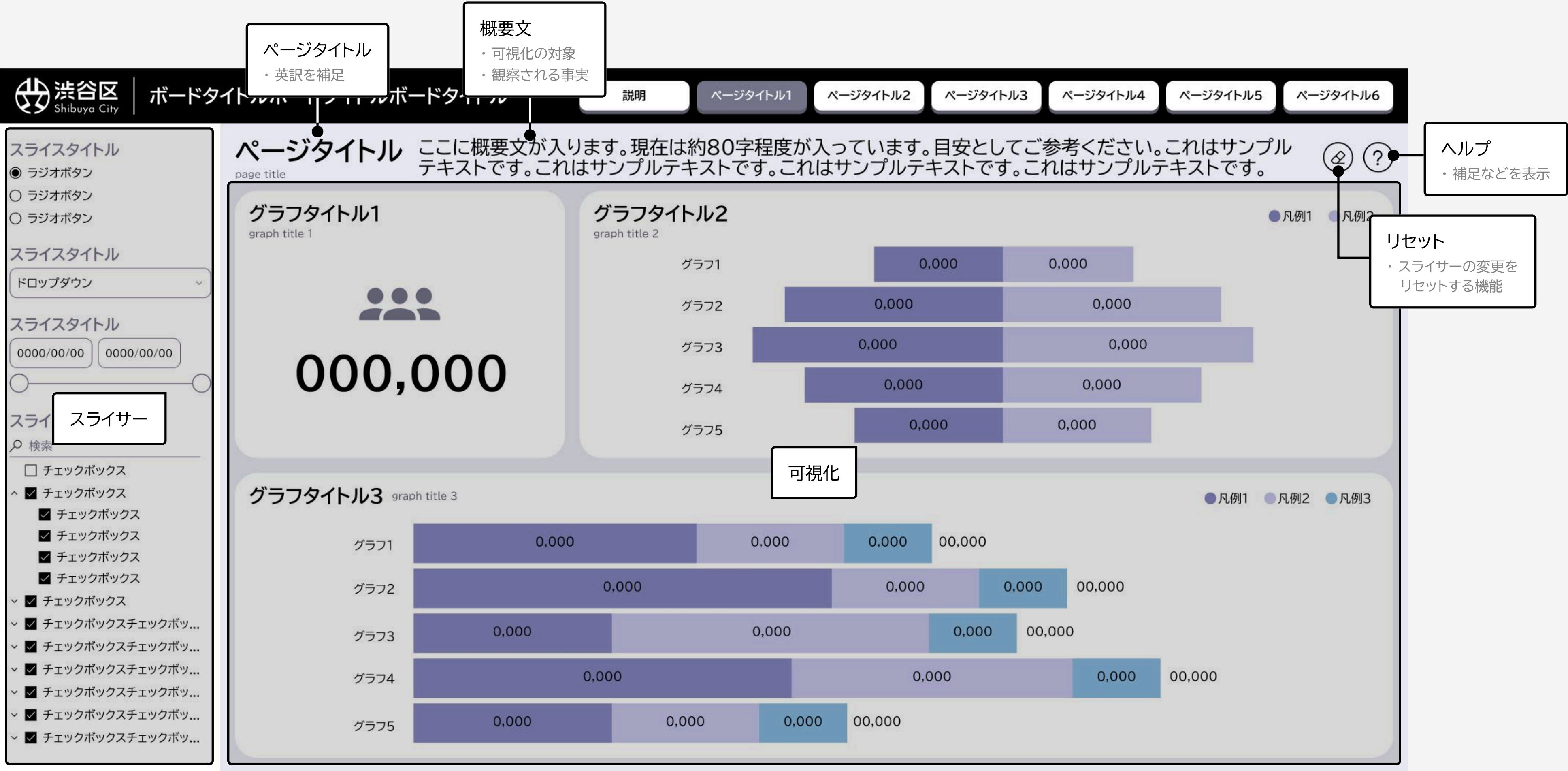




# 3. 構成 | 可視化ページ

2ページ目以降は、可視化ページが続きます。可視化をメインに、可視化にフィルター処理をかけられるスライサーや、ヘルプボタンが配置されます。

また、可視化だけだと内容が入ってきにくいので、ページタイトル横の概要文でフォローをするようにします。(参考：p41「5. ライティング | 可視化ページの概要文」)

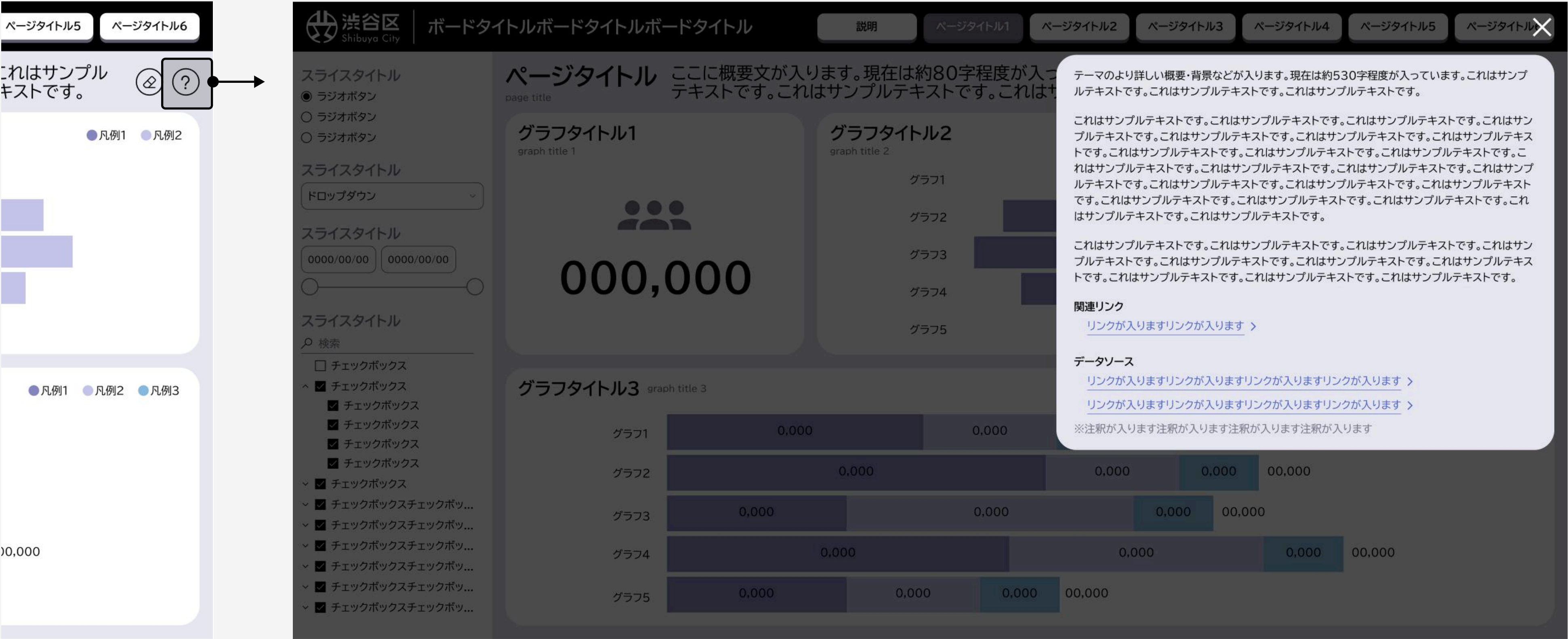


### 3. 構成 | ヘルプページ

ヘルプアイコンをクリックするとヘルプページが表示されます。関連リンクや、ページ内に収まらなかった補足などを記載する場所として活用します。

実装にはブックマーク機能を活用してください。

閲覧にはクリック操作が必要となるので、全利用者に必ず閲覧されるわけではありません。必読の内容はページ内に収めるようにしましょう。





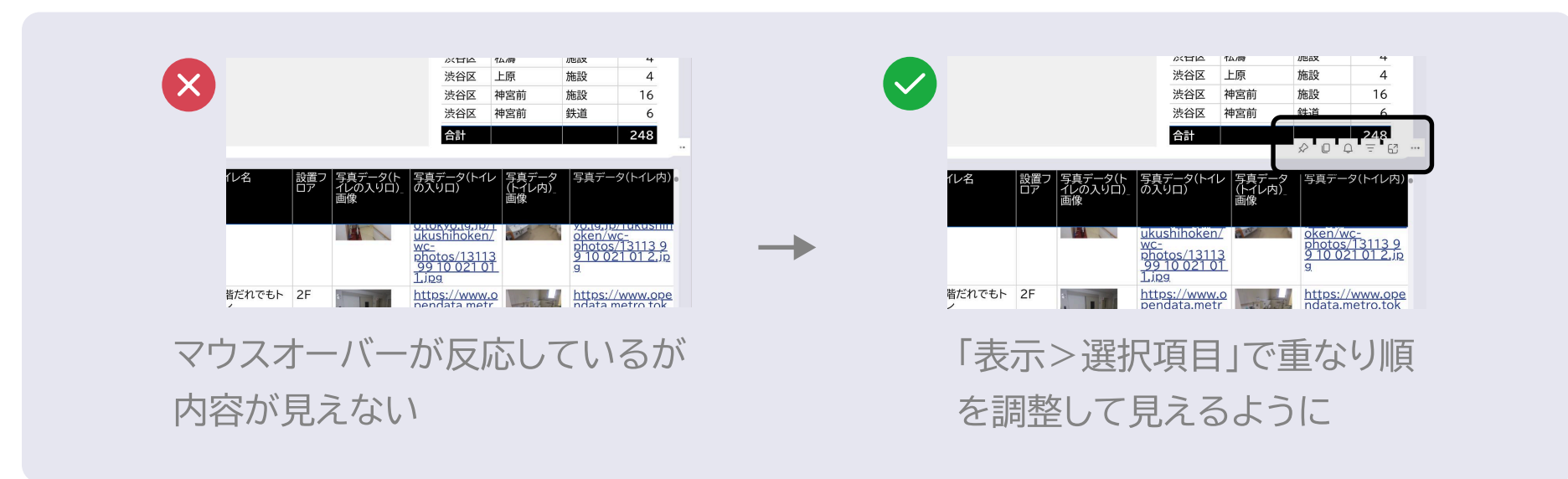
# 3. 構成 | マウスオーバー機能

マウスオーバーにより、浮かび上がる要素がいくつかあります。  
大量の情報を一度に処理するのは負担がかかり、本来見せたい情報のノイズとなります。  
マウスオーバー機能を活用することで、情報を処理しやすくします。

どれもデフォルトもしくは独自テンプレート内で実装済みです。基本的に設定を調整する必要はありませんが、きちんと作動しているか確認するようにします。

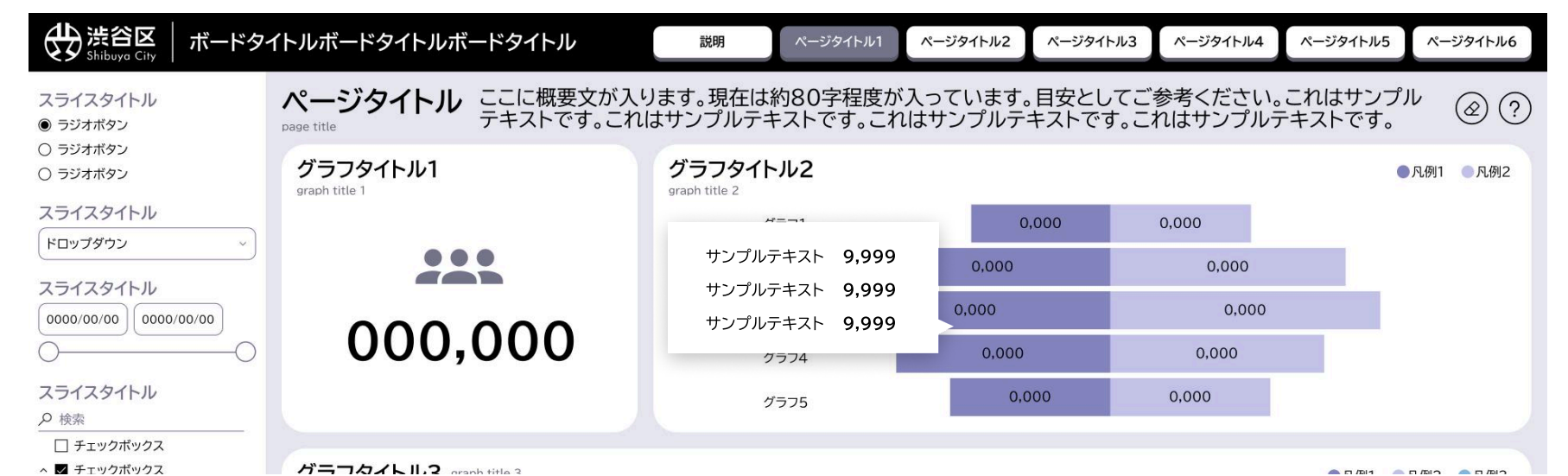
## オプションの表示（デフォルト実装）

- ・可視化をマウスオーバーすると、「フォーカスモード」をはじめとしたオプション郡が表示されます。
- ・上に別の可視化が重なっていると、オプション郡が隠れてしまうことがあります。  
「表示>選択項目」から重なり順を調整することで、解消してください。



## ツールヒントの表示（デフォルト実装）

- ・可視化内、どれかの凡例をマウスオーバーすると、詳細の数値が表示されます。
- ・可視化が複雑で一度に数値を表示できない場合は、この機能に頼り、可視化を簡略化します。
- ・マウスオーバーが作動しない場合は、「全般>ヒント」を有効にします。



## クリック後に起きることの表示（独自テンプレート実装）

- ・テンプレートに合わせて、クリックによって何が起こるのがを示しています。



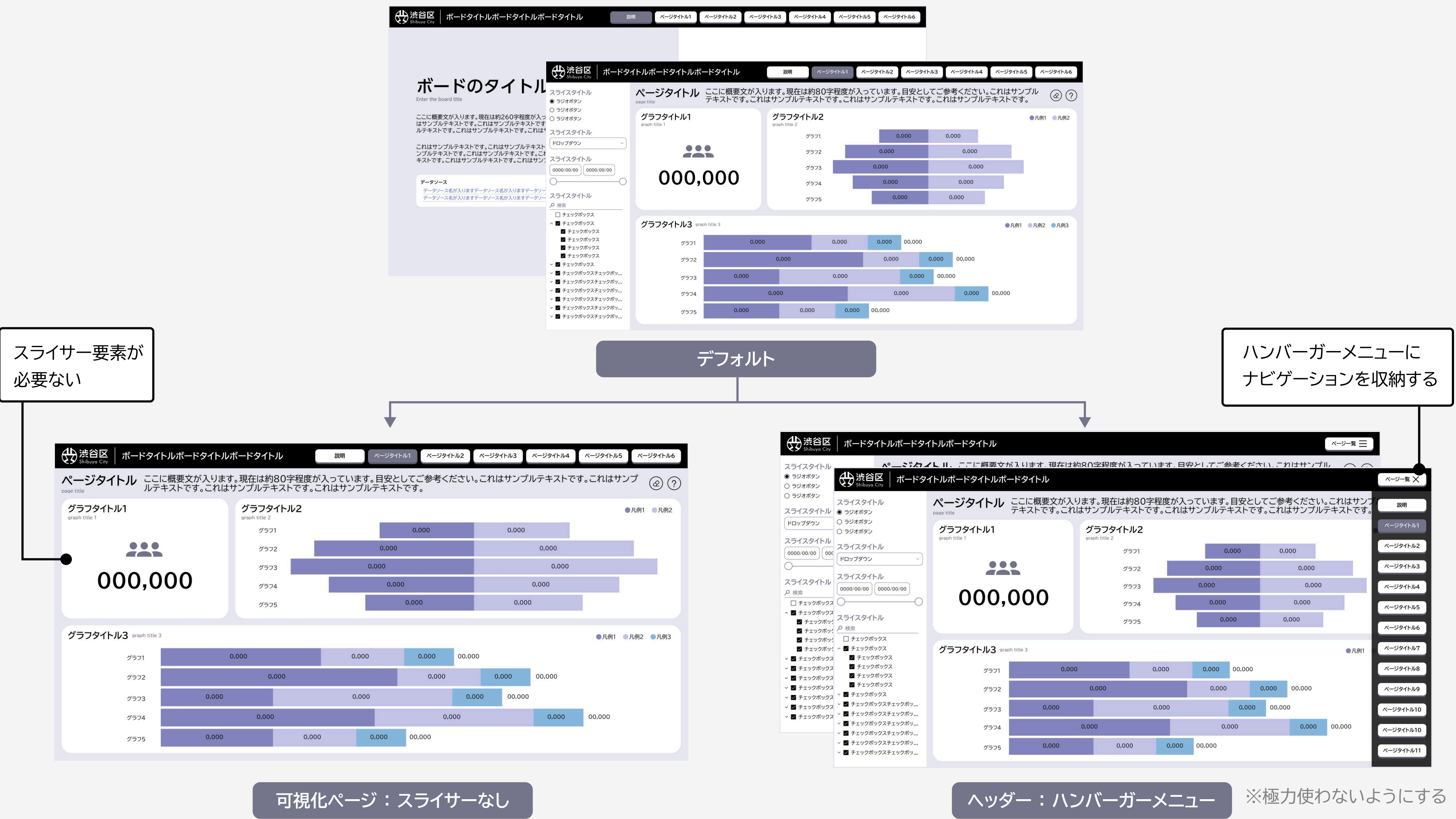
※マウスオーバー…パソコンの操作中に、マウスカーソルをある場所に重ねて置く（クリックせずに上に乗せる）動作のことを指します。情報の補足やヒントを表示したいときなどに使われ、ユーザーが操作を迷わずに進められるようにするためのUI上の工夫です。

# 3. 構成 | テンプレートの使い分け

構成によってテンプレートを使い分けます。

基本的にはデフォルトパターンを使用して進めますが、プロトタイプがまとまって、ビジュアル調整に入ったら、必要に応じてテンプレートを変更します。

ヘッダーが溢れた場合の対処としてハンバーガーメニューを用意していますが、ページ遷移の負担が大きくなるため、極力使わないようにします。ハンバーガーメニューを使用せずに済むように、ヘッダーや構成の整理を行ってください。



# 4. 可視化の表現

Visualization Methods

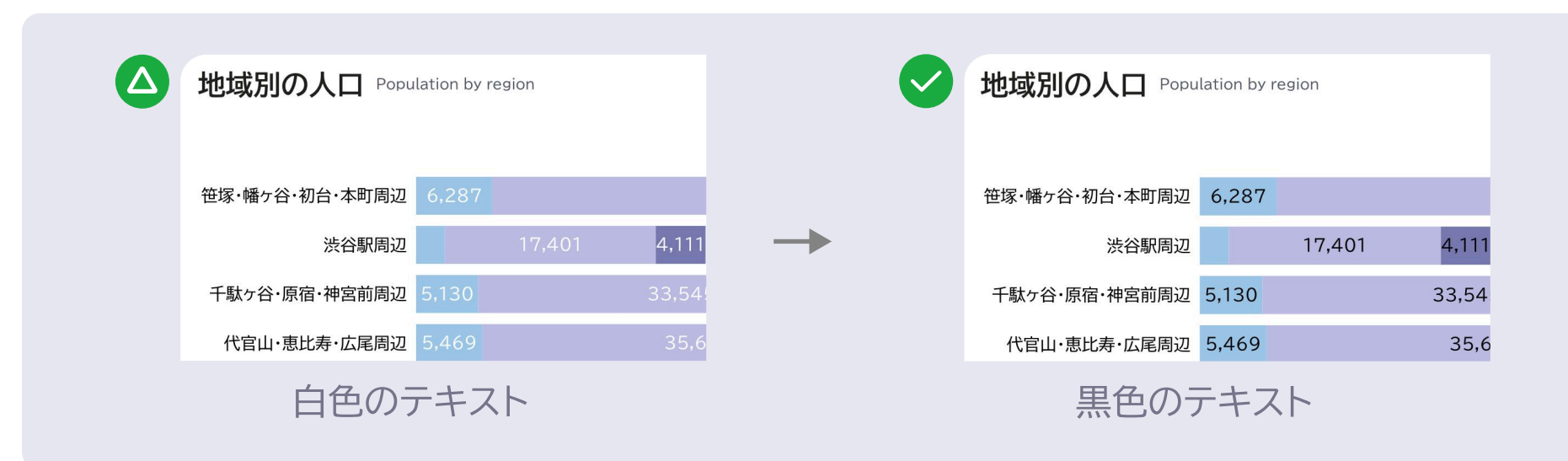


## 4. 可視化の表現 | 共通ルール

テーマによって利用者が求めているデータや区が伝えたいデータは様々で、もちろんその表現方法も変わってきます。

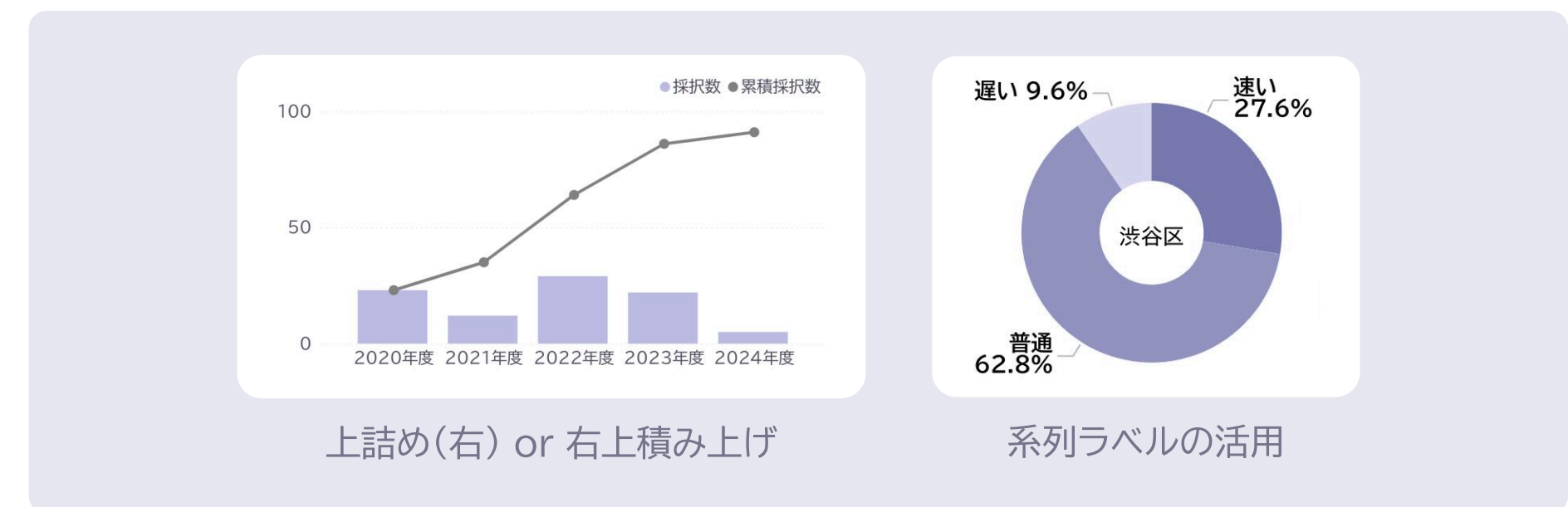
### 基本的に文字色は暗めを推奨

- ・ 白文字のコントラストを確保するには、背景をかなり暗くする必要があります。
- ・ 黒文字の方が安定してコントラストを確保できる傾向にあるため、基本的には暗めの文字色を使用すると安心です。



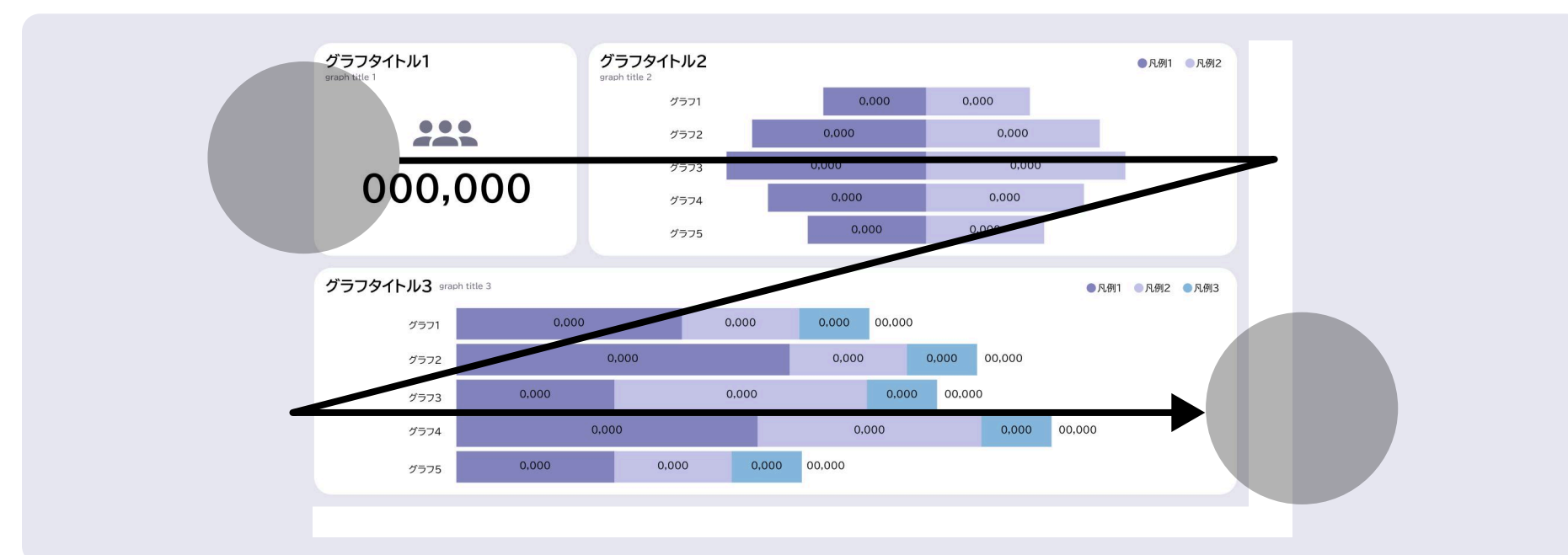
### 基本的に凡例は右上に

- ・ 凡例は基本的に右上(上詰め(右)・右上積み上げ)に配置します。
- ・ 凡例数が少ない場合は、グラフに直接配置する「系列ラベル」を活用しても構いません。



### Zの法則を意識してレイアウトする

- ・ 人の視線は左上から右下に向かって、「Z」のような形で移動するとされています。
- ・ ニーズの高いデータや、注目してもらいたいデータは左上に配置するようにしてください。



### 可視化が収まらない場合の拡張対応

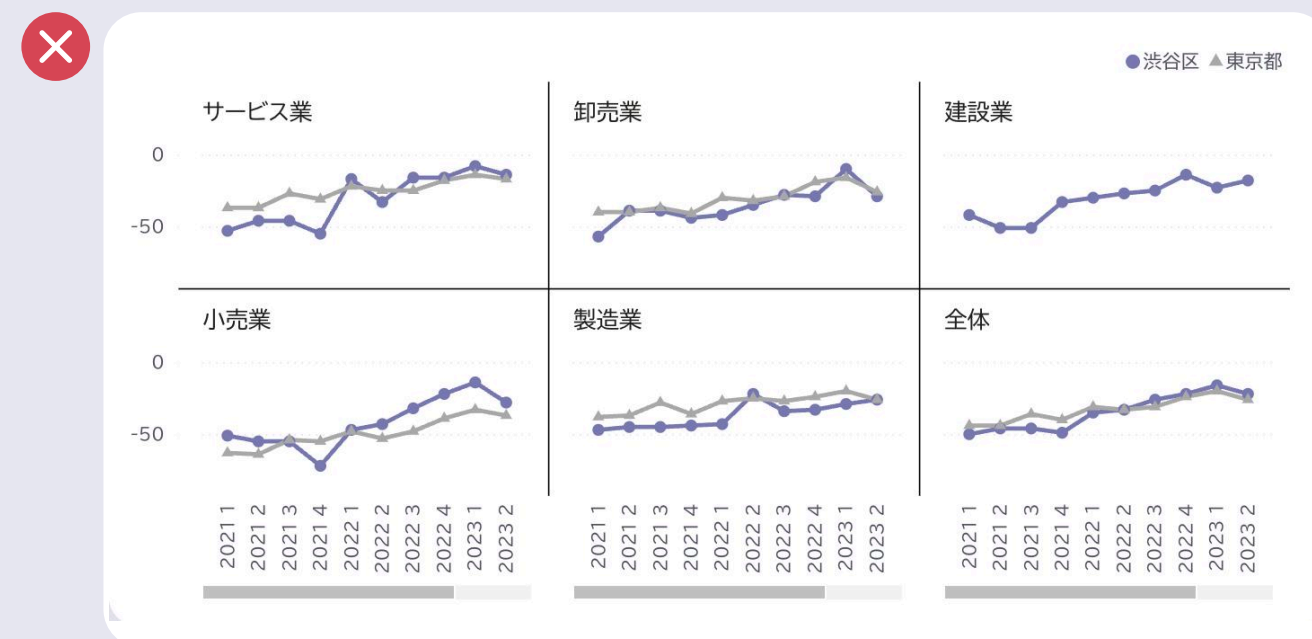
- ・ 情報量が多く1画面に収まらない場合は、ページの高さのみを広げて対応します。
- ・ 表示を「幅に合わせる」に設定することで、他のページとの見え方を揃えます。
- ・ スクロール量が多いと全体を俯瞰しにくくなるので、むやみに伸ばしすぎないように注意します。



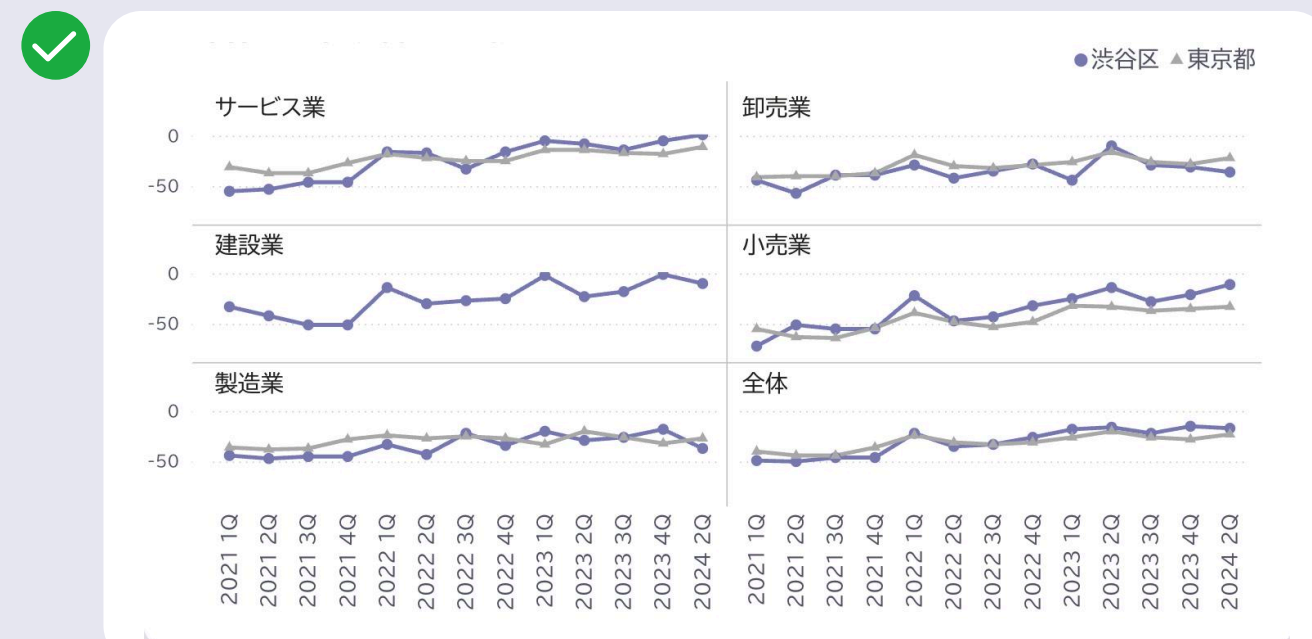
## 4. 可視化の表現 | 共通ルール

### できる限り見切れないようにする

- ・可視化が見切れると、全体を俯瞰できなくなってしまう。
- ・表示されるスクロールバーも見落とされやすく、特に横スクロールは操作もしづらいというデメリットがあります。
- ・サイズの拡張やレイアウトを見直すなどして、可能な限り見切れないように調整してください。



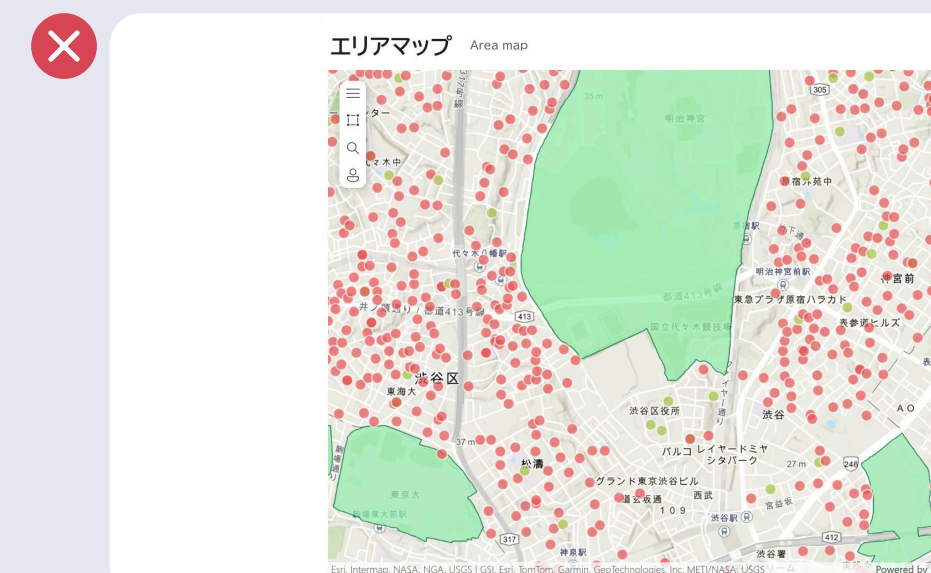
可視化が見切れている



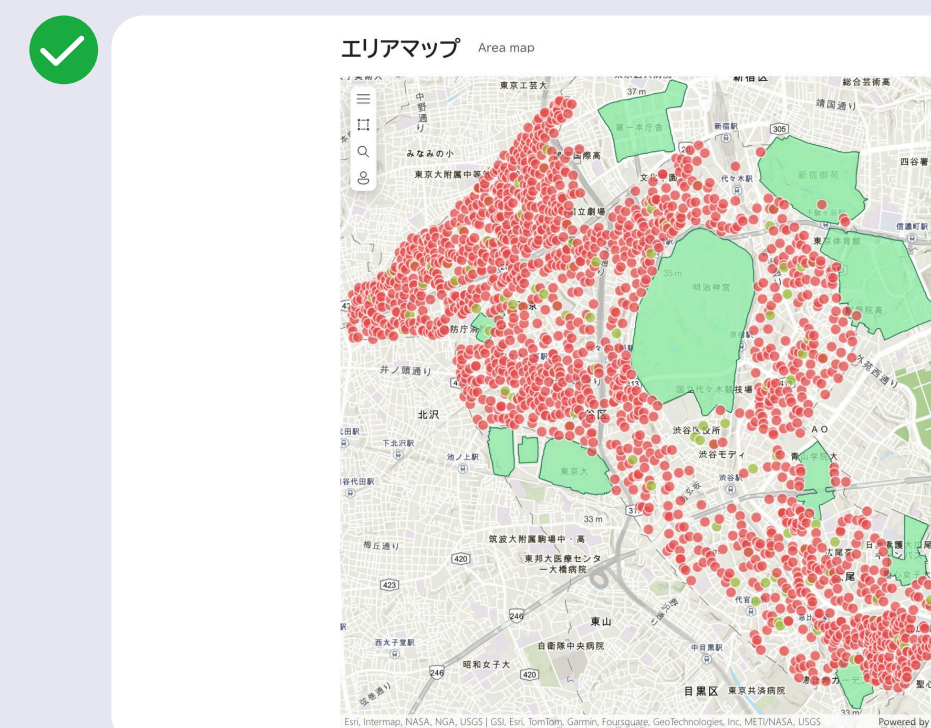
可視化が全部見えている

### マップは渋谷区全体が見えるように調整する

- ・利用者がまだ何も触っていない状態で、渋谷区全体が見えるようにサイズを調整します。
- ・渋谷区は縦長なので、可視化を縦に広げる必要があります。
- ・ページの高さが足りない場合はページの高さごと拡張します。(参考：p24「4. 可視化の表現 | 共通ルール」)



渋谷区が見切れている



渋谷区が全部見えている



# 4. 可視化の表現 | スライサーの共通ルール

スライサーのある可視化は、スライサーも適切な整理を行います。下記共通ルールを前提とし、次ページの使い分けを参考にしてください。

## スライサー領域の確保

- スライサーの下にスペースが残っている場合は、スライサー領域を最大限広げておくことで不自然な見切れを防ぎます。
- スライサーが連続し余白がない場合も、全体のバランスを見ながら各スライサーの選択肢が程よく見えるよう調整します。



## 部分的なスライサーの設置対応

- スライサーが一部の可視化に作用する場合は、その可視化内にスライサーを設置します。
- フォントサイズやカラーはそのままに、背景色を追加します。
- 背景色は、カラーパレット内で最も薄いグレーよりもさらに薄いグレー(目安は○#F2F2F2)を使用し、控えめに空間を区切ります。



## 4. 可視化の表現 | スライサーの使い分け

データの性質に合わせて、スライサーを使い分けてください。データを問題なく絞り込めるかどうかはもちろん、利用者視点で操作しやすいかどうかも考慮します。

### ラジオボタン

- ・ 選択肢の数：2つ以上
- ・ 選択できる数：1つだけ

☒ ラジオボタン  
☐ ラジオボタン  
☐ ラジオボタン

### チェックボックス

- ・ 選択肢の数：1つ以上
- ・ 選択できる数：0～すべて
- ・ 選択肢数が多く、カテゴライズできる場合は階層を設けます。
- ・ 「選択項目:Ctrlキーで複数選択」は必ずオフにしてください。  
この仕様には気付きにくいので、オンにしていると利用者を困惑させてしまいます。

階層なし

☒ チェックボックス  
☐ チェックボックス  
☐ チェックボックス  
☐ チェックボックス  
☐ チェックボックス

階層あり

^ ☒ チェックボックス  
  ☒ チェックボックス  
  ☒ チェックボックス  
  ☒ チェックボックス  
v ☐ チェックボックス  
v ☐ チェックボックス



### ドロップダウン

- ・ スライサー数や選択肢が多く、領域に収まらない場合は、ドロップボックスの適用によってスペースを節約することができます。全体を見ながら、可能な範囲での調整をかけてください。
- ・ ドロップダウンを適用すると選択肢が見えにくくなってしまうので、むやみに使用することは避けます。

ドロップダウン

☐ すべて選択  
☒ チェックボックス  
☒ チェックボックス  
☒ チェックボックス  
☒ チェックボックス  
☒ チェックボックス

ドロップダウン

☒ ラジオボタン  
☐ ラジオボタン  
☐ ラジオボタン



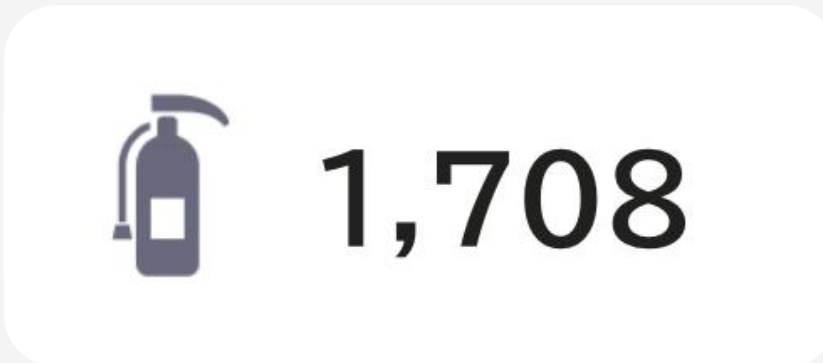
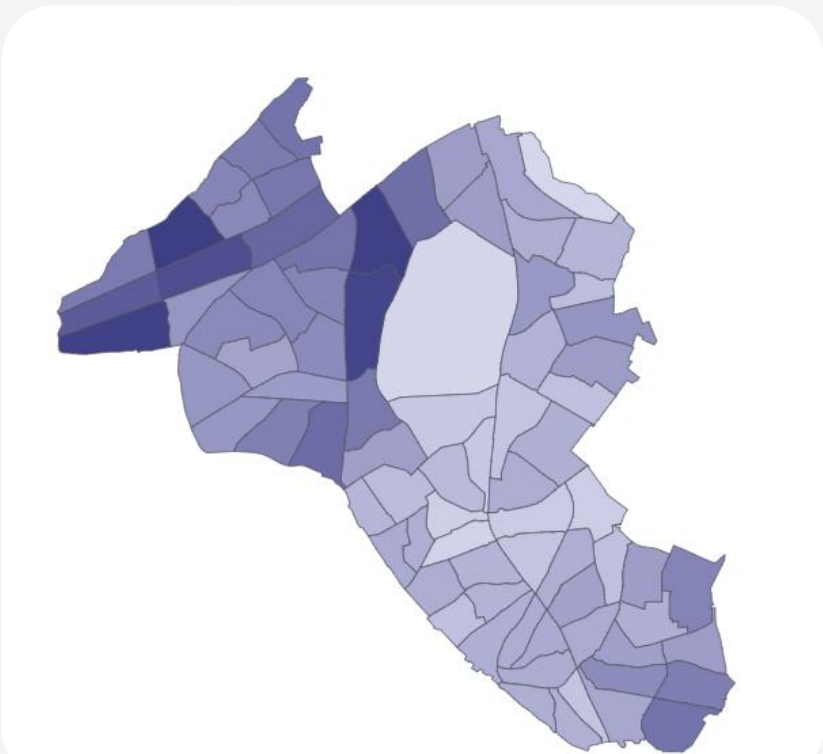
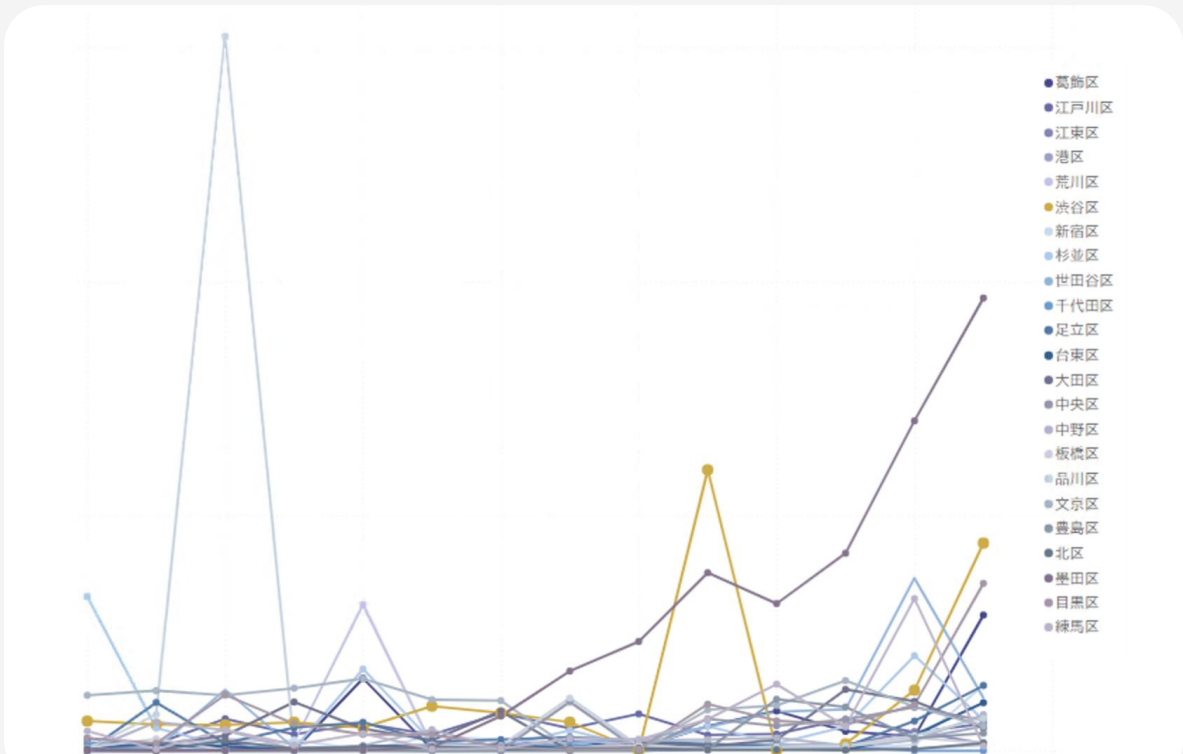
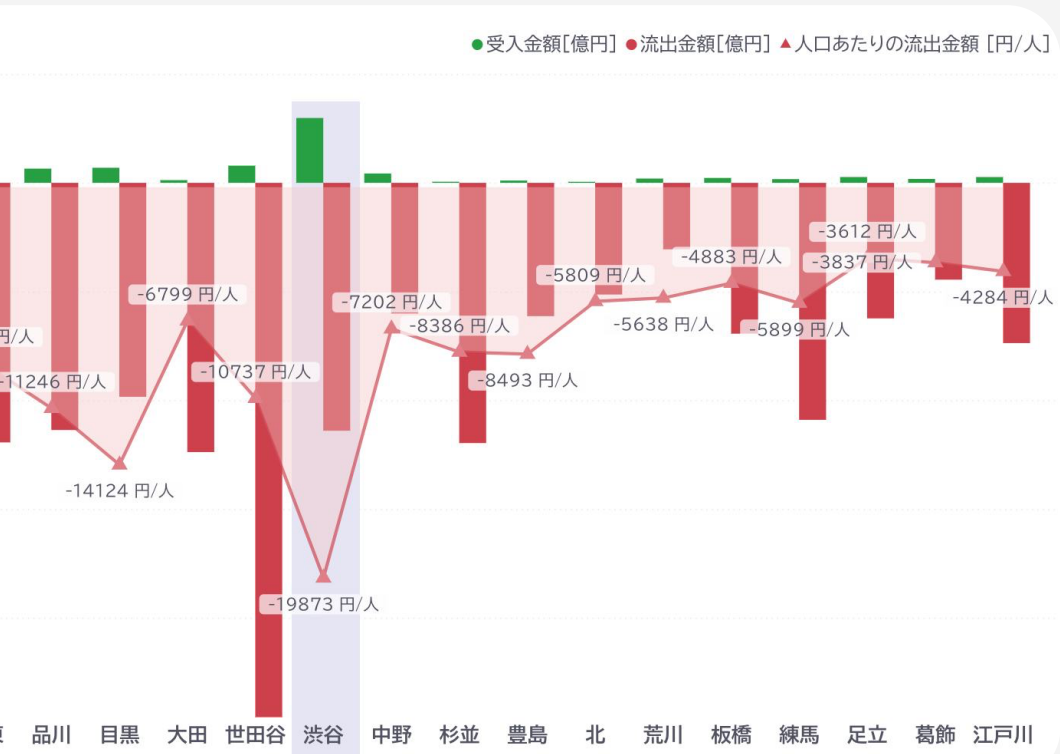
# 4. 可視化の表現 | ブラッシュアップの可能性

可視化には、100色のテーマカラーが自動で割り当てられるようになっています。  
(参考:p12「2. トーン&マナー | テーマカラー」)

これは非デザイナーでも、ある程度統一感のあるデザインを仕上げるための手助けとなります。なので、よりわかりやすくするためのアイデアを持っていたり、データの性質が例外的である場合は独自のアレンジを加えて構いません。

次ページ以降では、主な可視化パターンとその工夫をいくつか提示します。ブラッシュアップの参考にしてください。

ただし、「色」に関しては人によって認知の仕方が異なります。重大な表現は配色のみで区別しないように気をつけます。あくまで+αの手法として、ご活用ください。



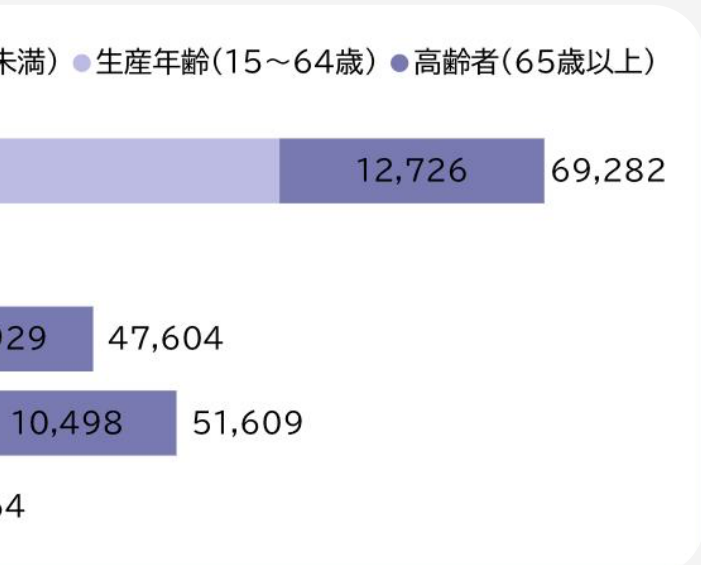
笹塚・幡ヶ谷・初台



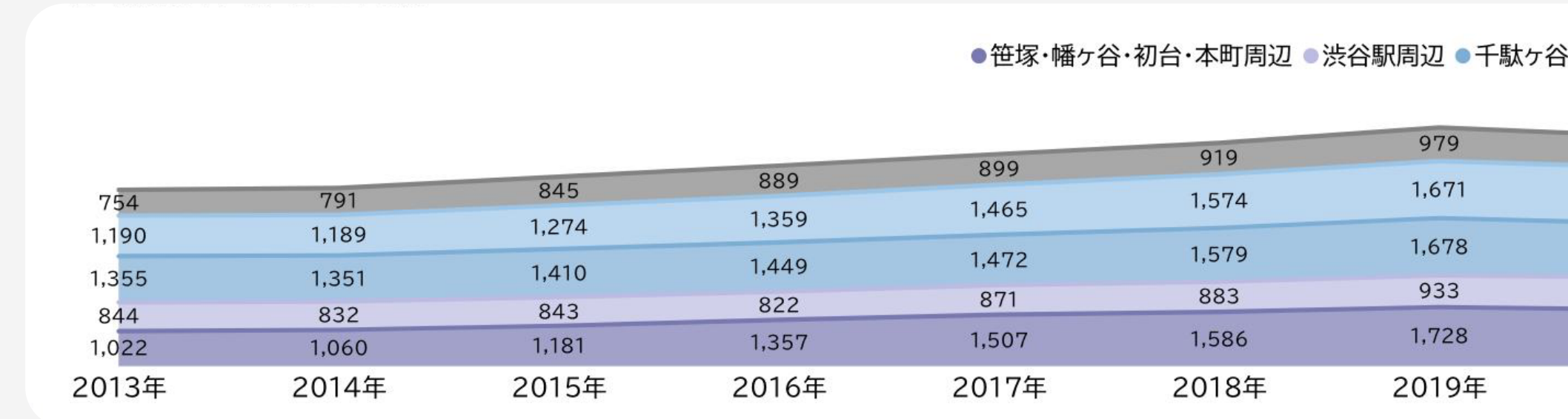
千駄ヶ谷・原宿

代官山・恵比寿

代々木上原・代々木



| 品目                 | 備蓄量                                |
|--------------------|------------------------------------|
| 1日3食セットA・B         | 避難者総定数39,785人の3日分(Aセット2日分、Bセット1日分) |
| LEDランタン            | 各避難所20台                            |
| ウェットティッシュ(ノンアルコール) | 約44,000袋                           |
| おむつ                | 幼児用約43,000枚、大人用約3,700枚             |
| バルーン投光器            | 各避難所3台                             |
| ベビーフード             | 避難者想定数(乳児660人)の3日分                 |
| マスク                | 約218,000枚                          |



## 4. 可視化の表現 | 基本的なビジュアルビルド

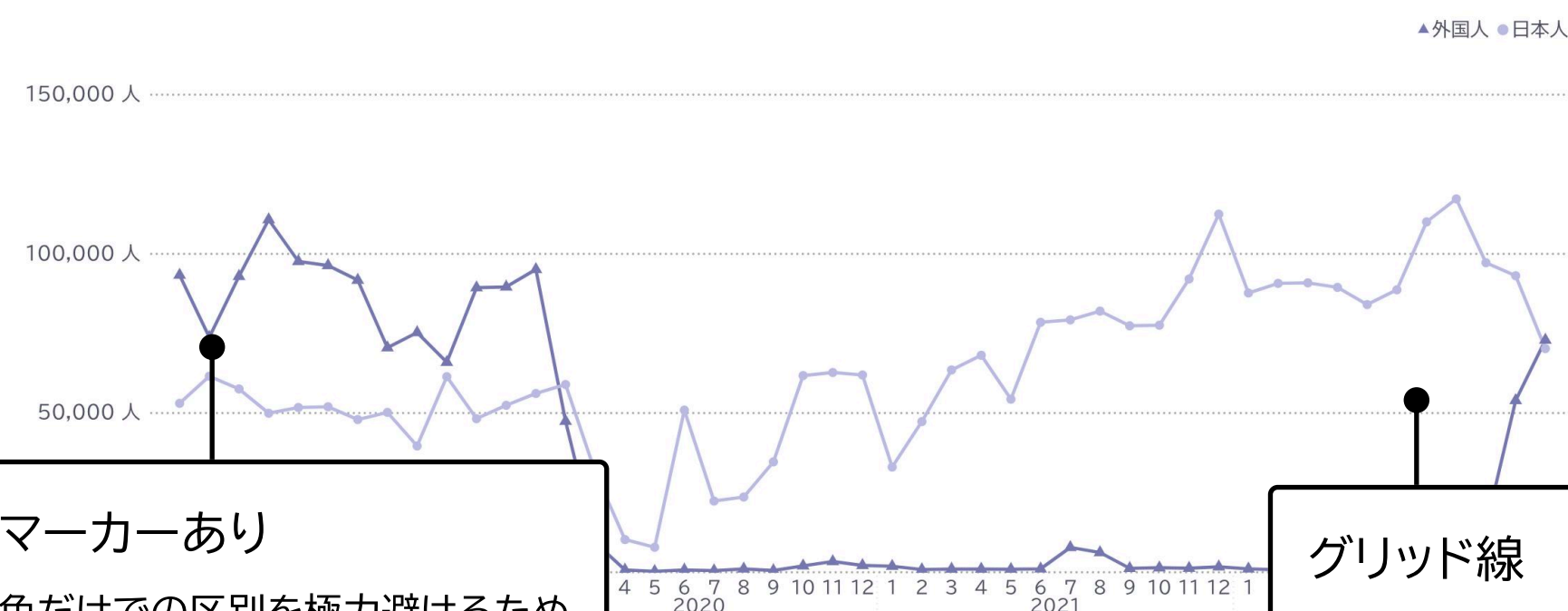
データの性質や伝えたい内容に合わせて、ビジュアルビルドを選定します。

主なビジュアルビルドは、「折れ線グラフ」「棒グラフ」「面グラフ」「円グラフ」の4種類です。ビジュアルビルドの種類によって調整できる要素は変わります。下記を参考に、見やすいよう調整をかけてください。

それぞれの特性については下記資料の「グラフの種類と選び方」を参考にします。

デジタル庁 ダッシュボードデザインの実践ガイドブックとチャート・コンポーネントライブラリ(ベータ版) : <https://www.digital.go.jp/resources/dashboard-guidebook>

### 折れ線グラフ



マーカーあり

色だけでの区別を極力避けるため  
違う形のマーカーを振り分ける

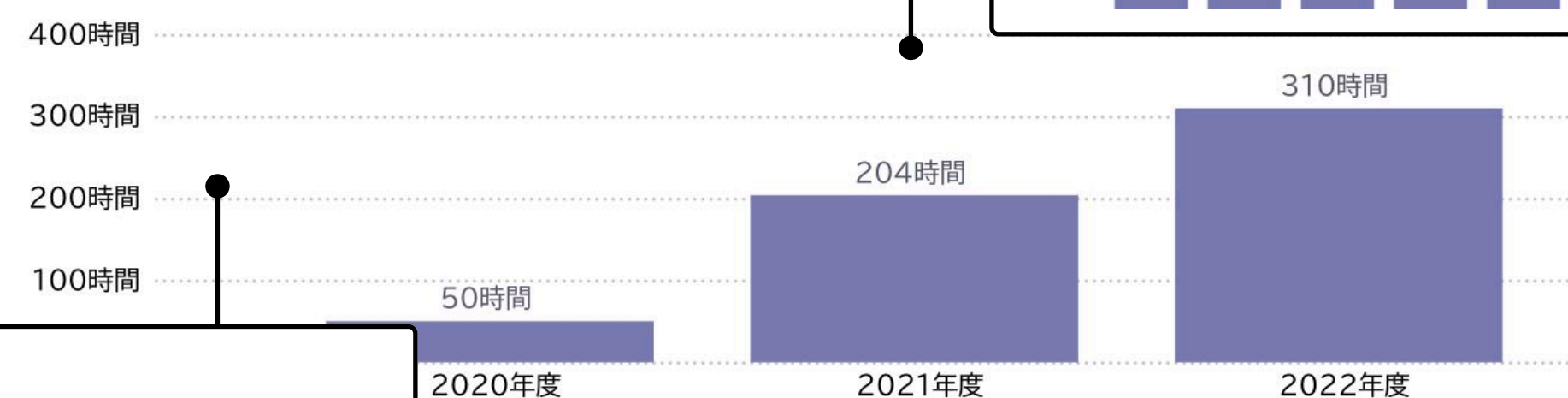
凡例

基本的に上詰め(右)／右上積み上げ

グリッド線

グラフの読み取りに邪魔にならないよう、下記を調整する  
点線／1~2px／薄めのグレー ● をパレットから選択

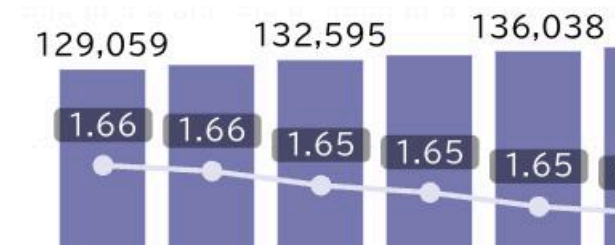
### 棒グラフ



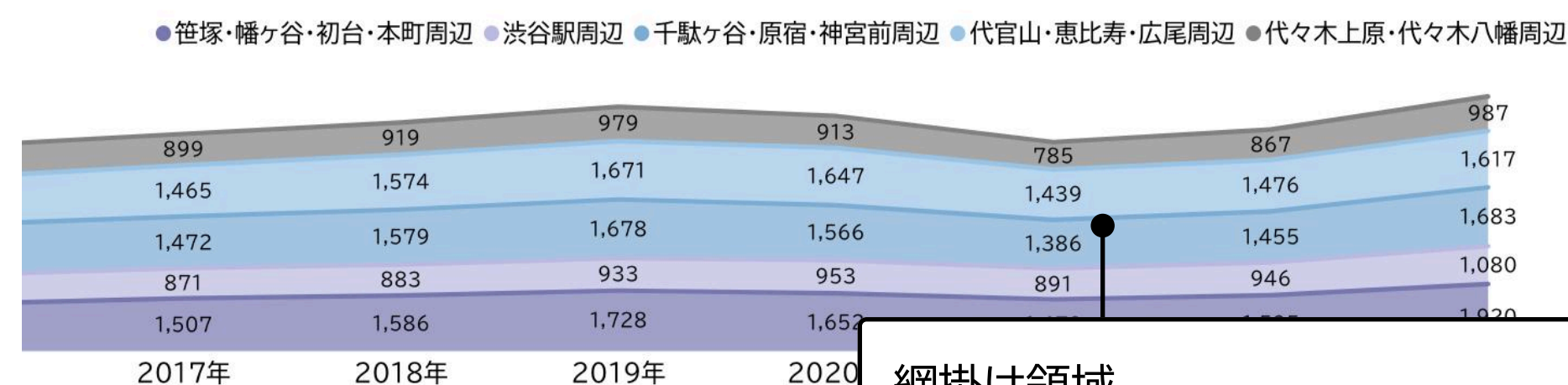
折れ線グラフの重ね方

データラベルを下記のように調整する。

背景: 黒 ● 透明度60% / 文字: 白 ○



### 面グラフ

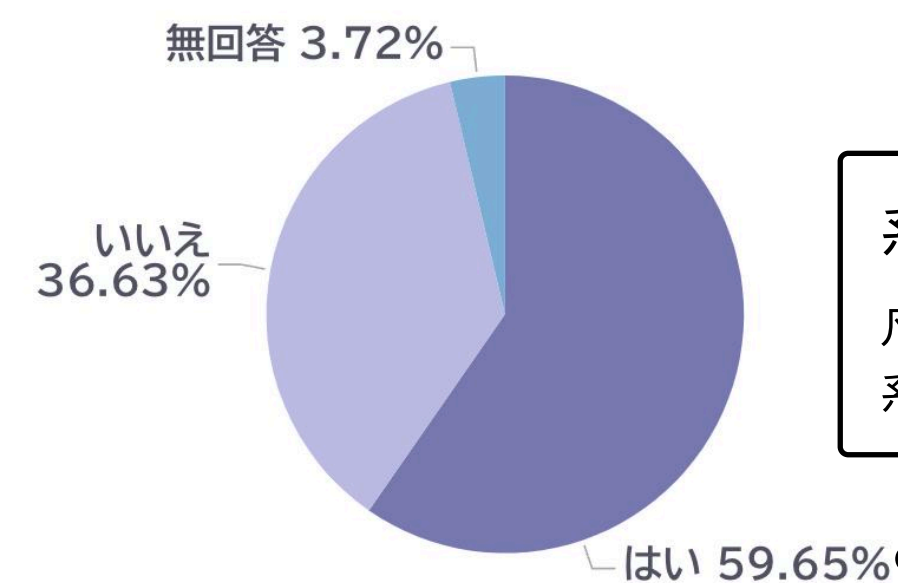


網掛け領域

積み上げ面グラフ：透明度30%

面グラフ：透明度30%~90%を組み合わせる

### 円グラフ



系列ラベル

凡例が少ない場合は非表示にして  
系列ラベルを活用する



## 4. 可視化の表現 | アイコン表現

数字を見せる可視化にはアイコンをつけることを推奨します。

数字だけを見せる可視化は、バランスが取れず悪目立ちしてしまったり、逆に埋もれてしまうということが起こりやすいです。アイコンを添えることで他の可視化に馴染ませわかりやすさも向上させます。

アイコンを使用する際は、ライセンスが明確で再配布可能な、下記のサイトからの活用を推奨しています。その他の素材サイトを利用する場合は、必ず各サイトのライセンス内容を確認した上でご利用ください。

Material Symbols & Icons - Google Fonts :

<https://fonts.google.com/icons>

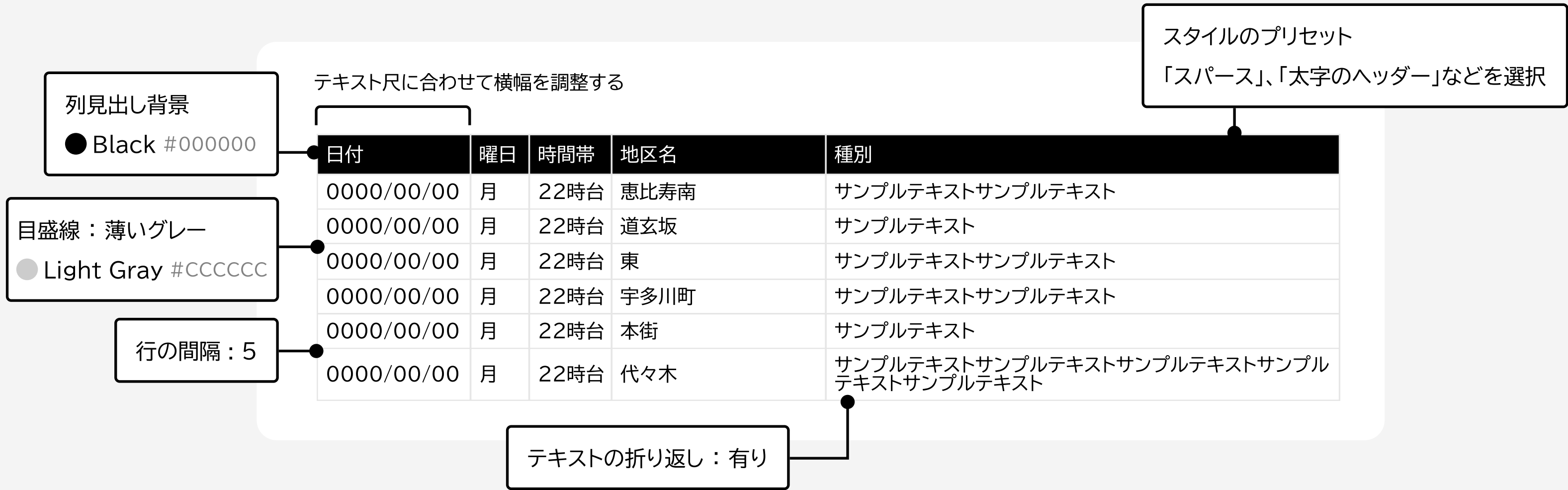


# 4. 可視化の表現 | テーブル表現

テキストを一覧化したいデータはテーブル表現を適用します。

テーブルはスライサーとしても機能します。同一ページ内に関連するグラフが配置されている場合、表内の行をクリックすることで絞り込みが行われます。

またテーブル表現においては、情報量の多さゆえ、見切れを避けられないことが多いです。そういった場合は、見切れる位置を調整します。あえて不自然な位置で見切れるように調整することで見切れていることが一目でわかるので、スクロールを促します。



✖

| 日付         | 曜日 | 時間帯  | 地区名  |
|------------|----|------|------|
| 0000/00/00 | 月  | 22時台 | 恵比寿南 |
| 0000/00/00 | 月  | 22時台 | 道玄坂  |
| 0000/00/00 | 月  | 22時台 | 東    |
| 0000/00/00 | 月  | 22時台 | 宇多川町 |
| 0000/00/00 | 月  | 22時台 | 本街   |

- 縦にも横にも見切れている
- 見切れていることがわかりにくい

△

| 日付         | 曜日 | 時間帯  | 地区名  | 種別               |
|------------|----|------|------|------------------|
| 0000/00/00 | 月  | 22時台 | 恵比寿南 | サンプルテキストサンプルテキスト |
| 0000/00/00 | 月  | 22時台 | 道玄坂  | サンプルテキスト         |
| 0000/00/00 | 月  | 22時台 | 東    | サンプルテキストサンプルテキスト |
| 0000/00/00 | 月  | 22時台 | 宇多川町 | サンプルテキストサンプルテキスト |
| 0000/00/00 | 月  | 22時台 | 本街   | サンプルテキスト         |

- 縦にのみ見切れている
- あえてテキストの途中で見切れさせる

✔

| 日付         | 曜日 | 時間帯  | 地区名  | 種別                           |
|------------|----|------|------|------------------------------|
| 0000/00/00 | 月  | 22時台 | 恵比寿南 | サンプルテキストサンプルテキスト             |
| 0000/00/00 | 月  | 22時台 | 道玄坂  | サンプルテキスト                     |
| 0000/00/00 | 月  | 22時台 | 東    | サンプルテキストサンプルテキスト             |
| 0000/00/00 | 月  | 22時台 | 宇多川町 | サンプルテキストサンプルテキスト             |
| 0000/00/00 | 月  | 22時台 | 本街   | サンプルテキスト                     |
| 0000/00/00 | 月  | 22時台 | 代々木  | サンプルテキストサンプルテキスト<br>サンプルテキスト |



## 4. 可視化の表現 | 色使いのパターン

SHIBUYA CITY DASHBOARDでは、視覚的なわかりやすさと情報の整理性を高めるために、データの性質に応じた色使いの目安を設けています。

| 名称         | 適用シーン                                  | 具体例                       | カラーパレット                                                                                                                                         |
|------------|----------------------------------------|---------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1方向スケールカラー | 1方向に値が変化する場合                           | 年齢、頻度                     | <br>#63638F #8484BE #B5B5D8 #DADAEC #E3E3E3                  |
| 2方向スケールカラー | 2方向に値が変化する場合<br>主観的なポジティブ・ネガティブを表現する場合 | 満足度、はい・いいえ                | <br>#CC9061 #D4AA89 #DCCBBB #D6D6D6 #ADD5EB #86B7DD #6099C5 |
| カテゴリカラー    | 順序や数値の関係がなく、<br>個別に分類・区別したい場合          | 地域、分野                     | <br>#DF9D9D #62BABE #8484BE #ADD5EB #CC9061                |
| アクセントカラー   | 特定の値にのみ注目を集めたい場合                       | 渋谷区とほか地域の比較<br>最新年度への視線誘導 | <br>#E4C948                                                |
| ポジネガカラー    | 明確な事実や成果に基づいて<br>ポジティブ・ネガティブを表現する場合    | 黒字・赤字                     | <br>#62BABE #D0717B                                        |

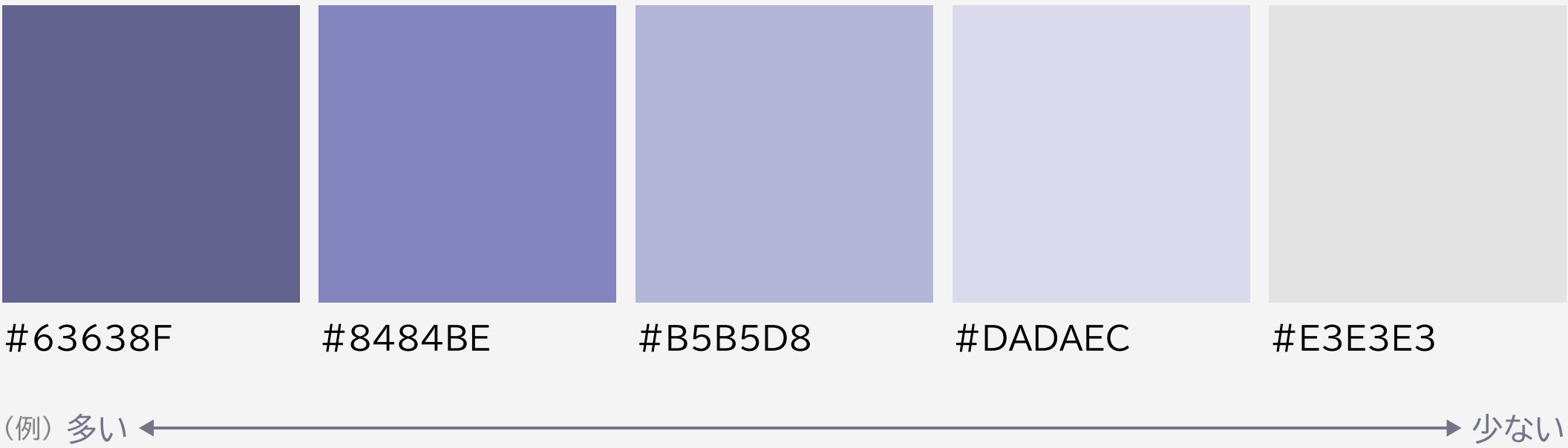
# 4. 可視化の表現 | 1方向スケールカラー

値が一方向に連続的に変化するデータには、1色のグラデーションを使用します。濃淡によって値の大小や強弱を視覚的に示すことで、直感的な理解を促します。

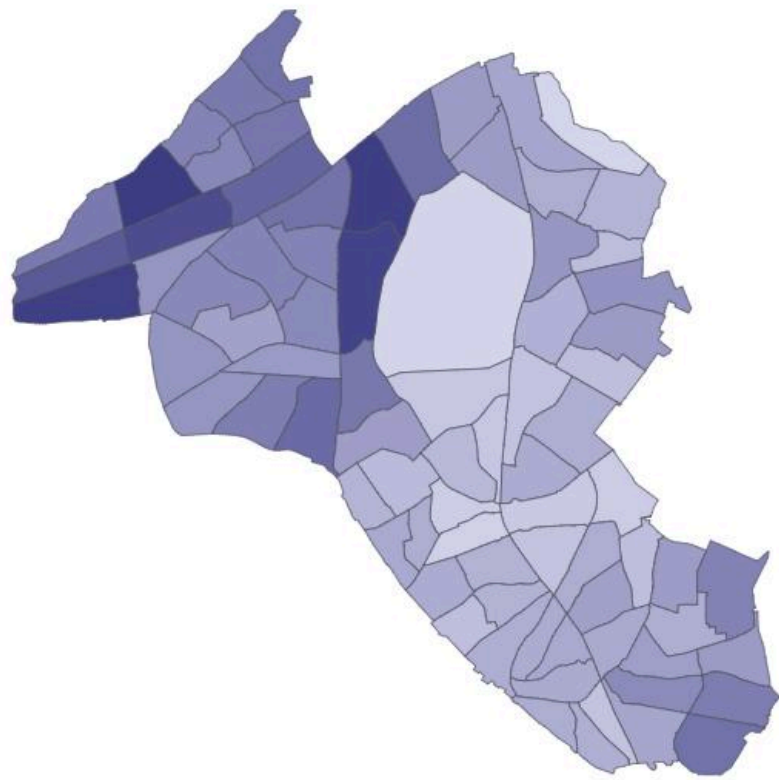
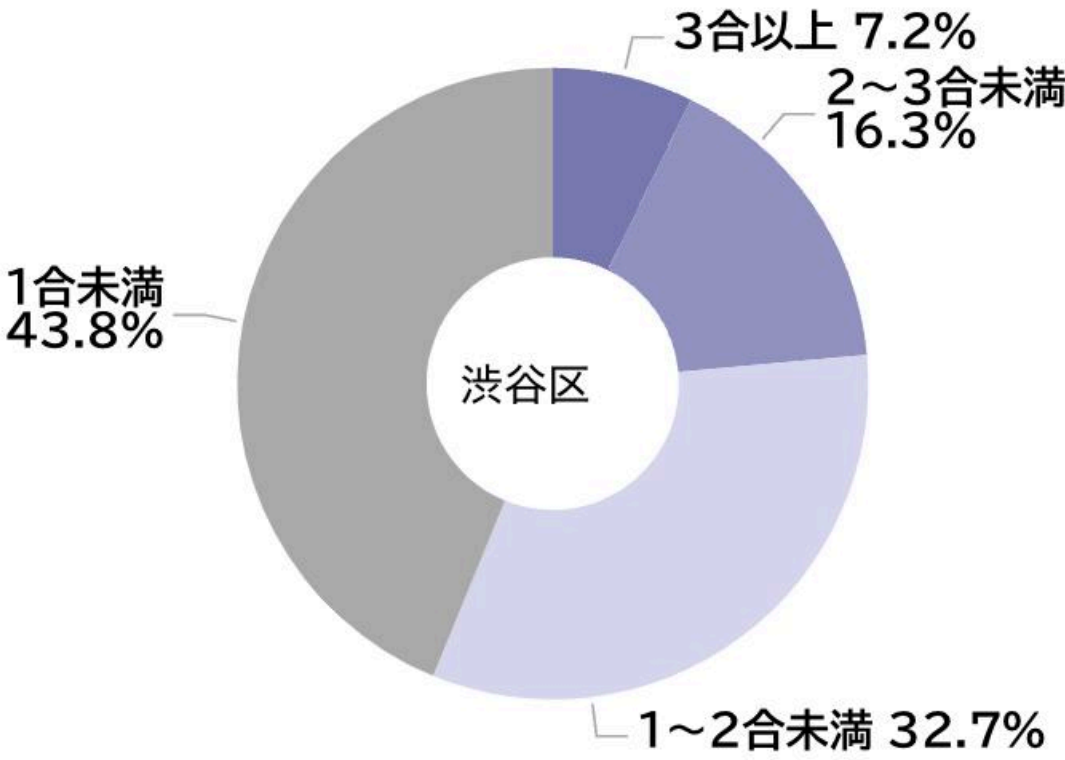
例えば「人数が多い⇔少ない」「頻度が高い⇔低い」など、段階的な傾向を表現したい場面に適しています。

色は全体の統一感を考慮し、渋谷区を意識した紫を基調とします。

なお、濃淡の差が小さいと値の違いが認識しづらくなるため、十分なコントラストを確保するよう注意してください。段階が多くて濃淡差を出しにくい場合は、グレーの併用も有効です。



|       |       |       |  |       |
|-------|-------|-------|--|-------|
| 20.4% | 30.6% | 17.1% |  | 22.1% |
| 21.3% | 29.8% | 18.0% |  | 21.5% |
| 20.5% | 30.7% | 18.1% |  | 20.6% |
| 20.7% | 31.2% | 18.1% |  | 19.8% |
| 22.1% | 30.7% | 17.0% |  | 21.7% |
| 23.0% | 29.7% | 16.6% |  | 21.9% |
| 22.8% | 30.2% | 16.8% |  | 21.4% |
| 23.5% | 29.3% | 17.0% |  | 21.2% |
| 24.4% | 29.8% | 16.0% |  | 20.8% |



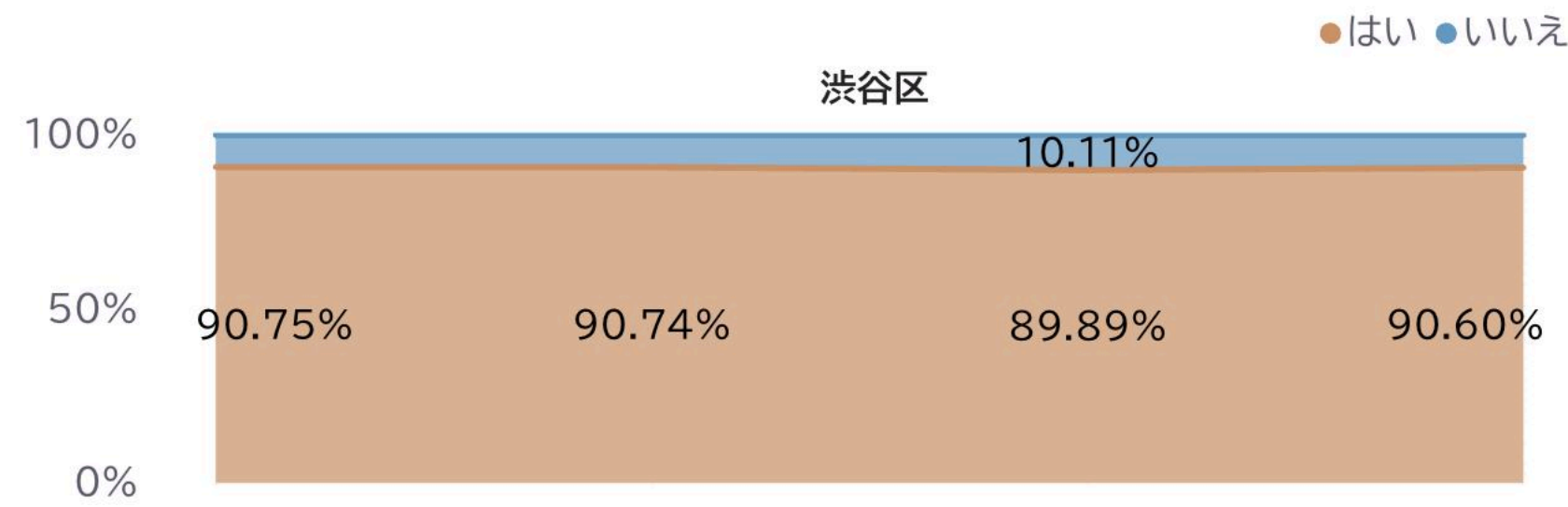
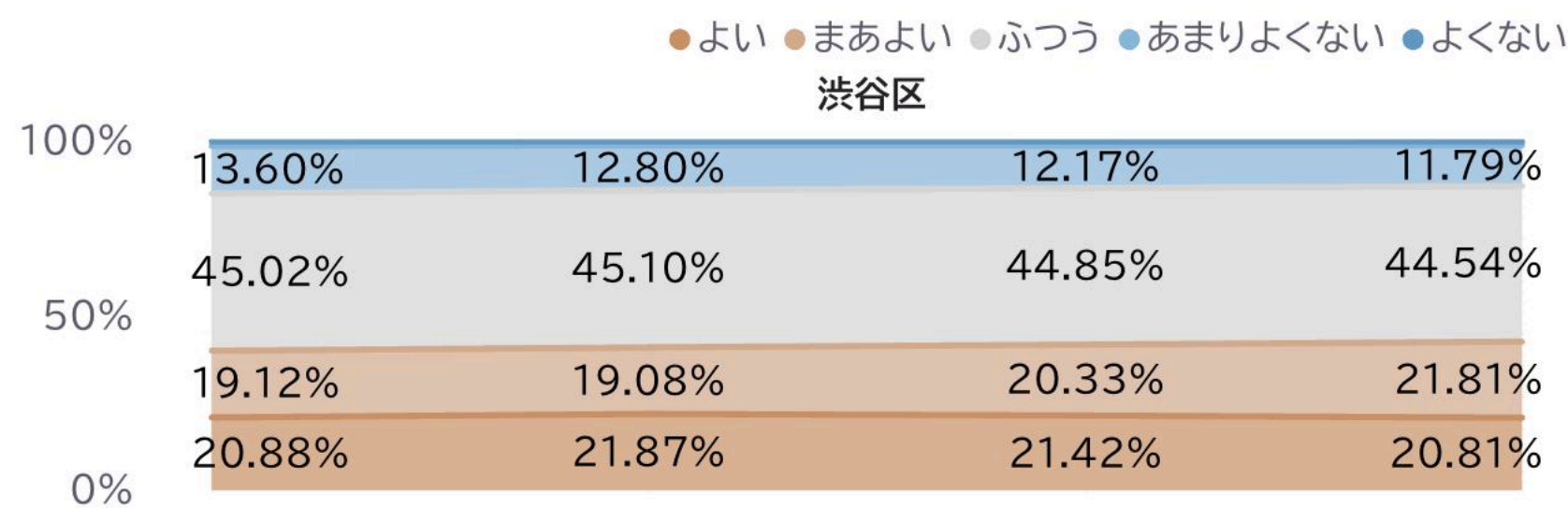
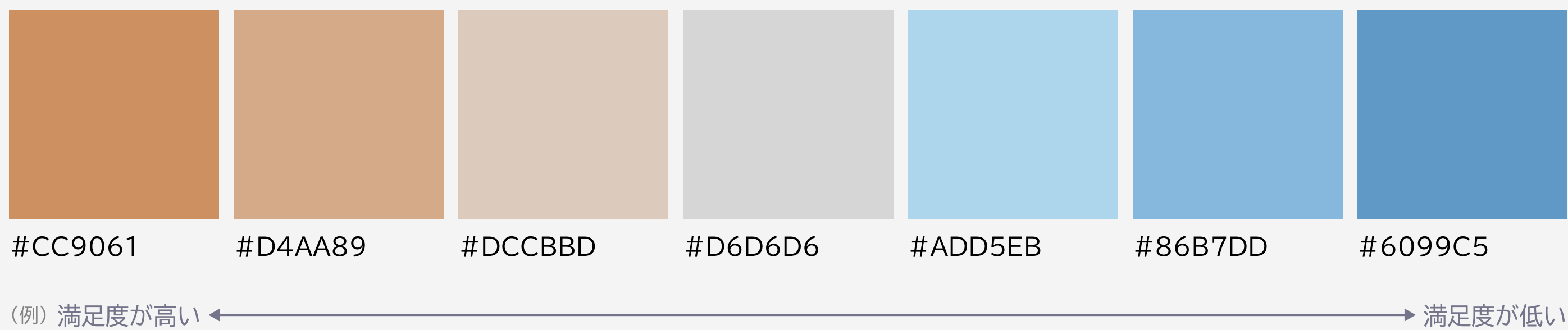
# 4. 可視化の表現 | 2方向スケールカラー

値がポジティブ・ネガティブの2方向に変化する主観的なデータには、2色のグラデーションを使用します。両端に異なる色を配置することで、感情や評価の違いを明確に示します。

例えば「満足度が高い⇔低い」「はい・いいえ」のようなアンケート結果を表現したい場面に適しています。

配色は、ポジティブ側にオレンジ、ネガティブ側に青、中立にグレーを用います。視覚的に差異と中立性を分かりやすく表現する構成です。

より強い訴求が必要な場合はポジネガカラーの使用も検討できますが、回答者への配慮が必要な場面では2方向スケールカラーの使用を推奨します。  
(参考：p37「4. 可視化の表現 | ポジネガカラー」)



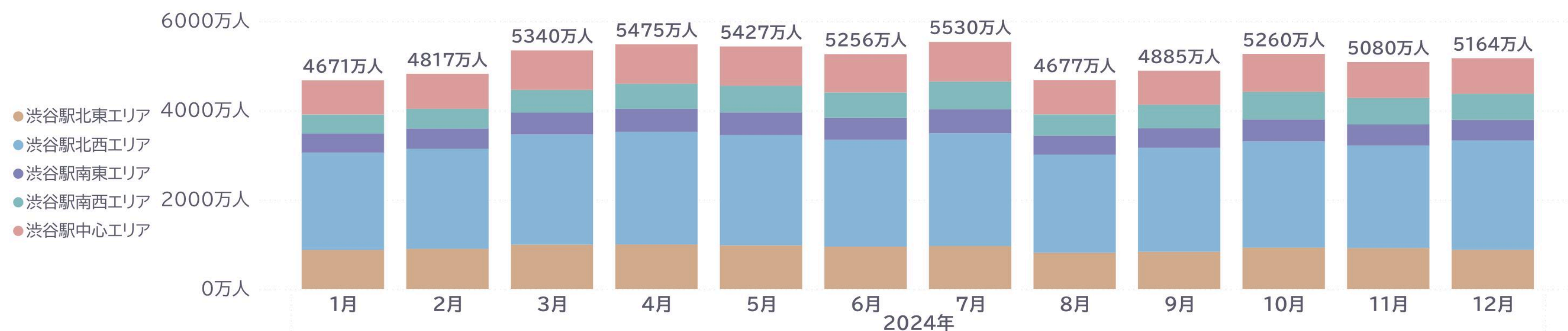


## 4. 可視化の表現 | カテゴリカラー

数値の順序や連続性を持たず、分類を明確に区別したいデータには、色相の異なる複数の色を使用します。

色数が多くなる場合でも、明度や彩度を揃えることで視覚的な統一感を保ちます。

例えば、「地域別に分類」「分野ごとのグループ分け」といった、比較対象が同列に並ぶような場面で適しています。



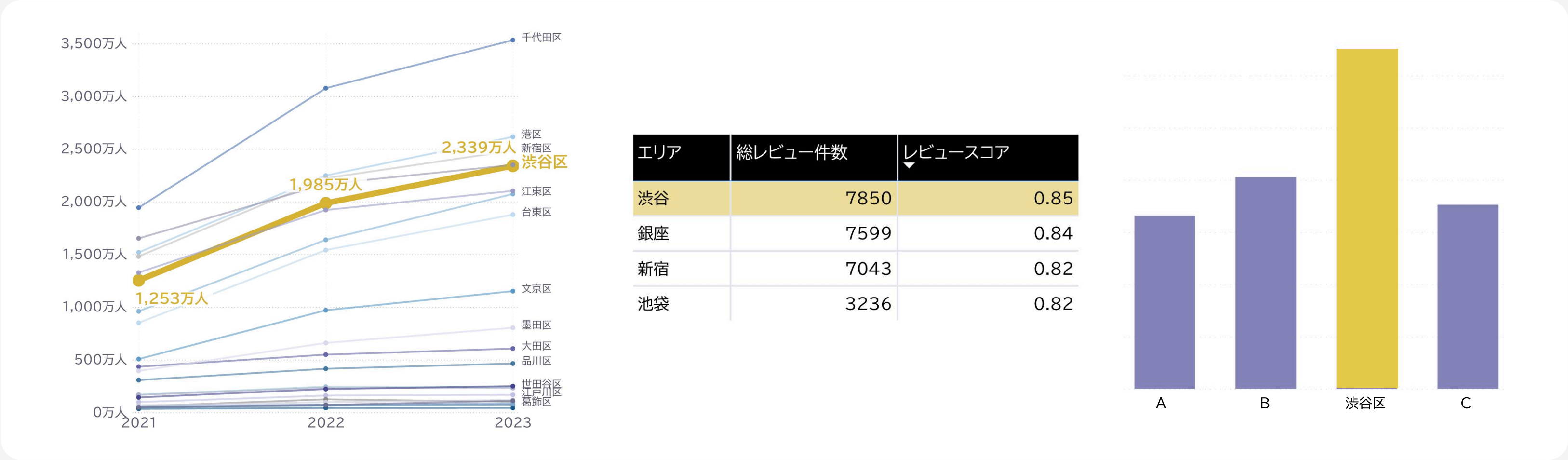
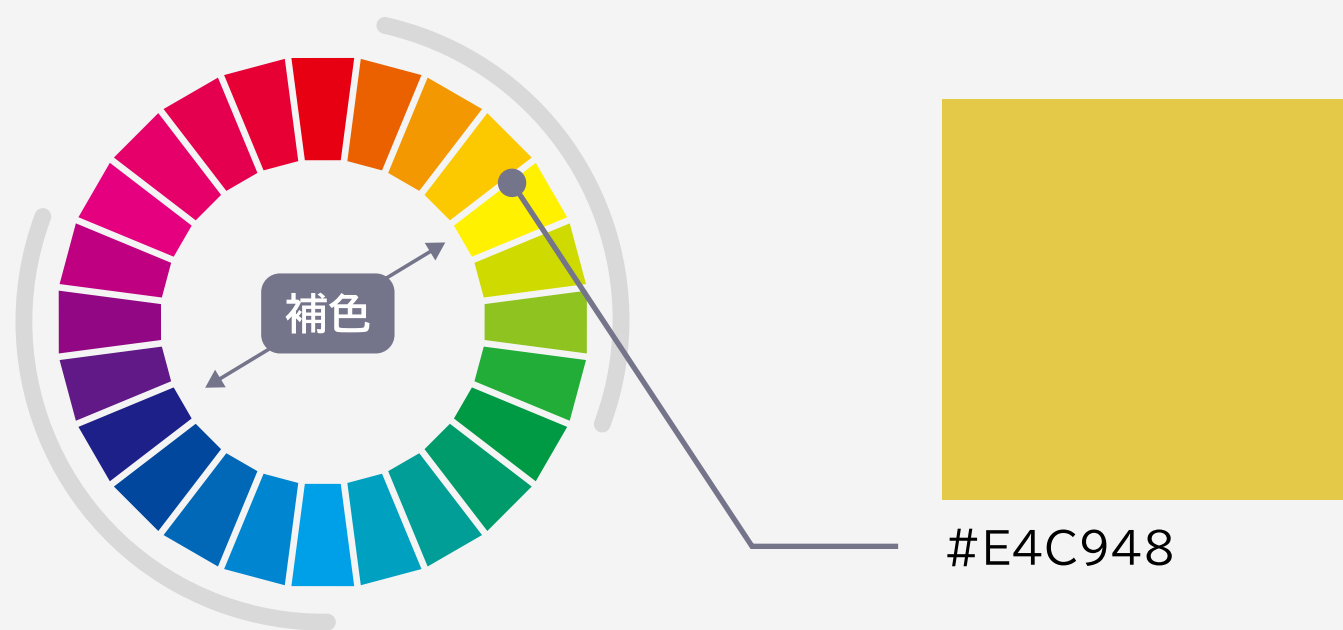
# 4. 可視化の表現 | アクセントカラー

全体の中で特定の値だけに視線を集めたい場合は、アクセントカラーを使用します。  
その他すべての値には統一色を用い、注目させたい1つの値にのみ異なる色を使うことで視線を集めやすくなります。

例えば、「地域比較において、渋谷区を目立たせる」「最新年度を目立たせる」といった  
場面で適しています。

基本的にはすべての値には渋谷区を意識した紫を、アクセントカラーには、補色関係にある暖色系、たとえば黄色を使用します。

ただし、使用は最小限に抑えるのが原則です。多用するとかえって目立たず、視覚的  
ノイズになります。「ここに注目してほしい」という明確な意図がある場合のみに絞って  
使用してください。



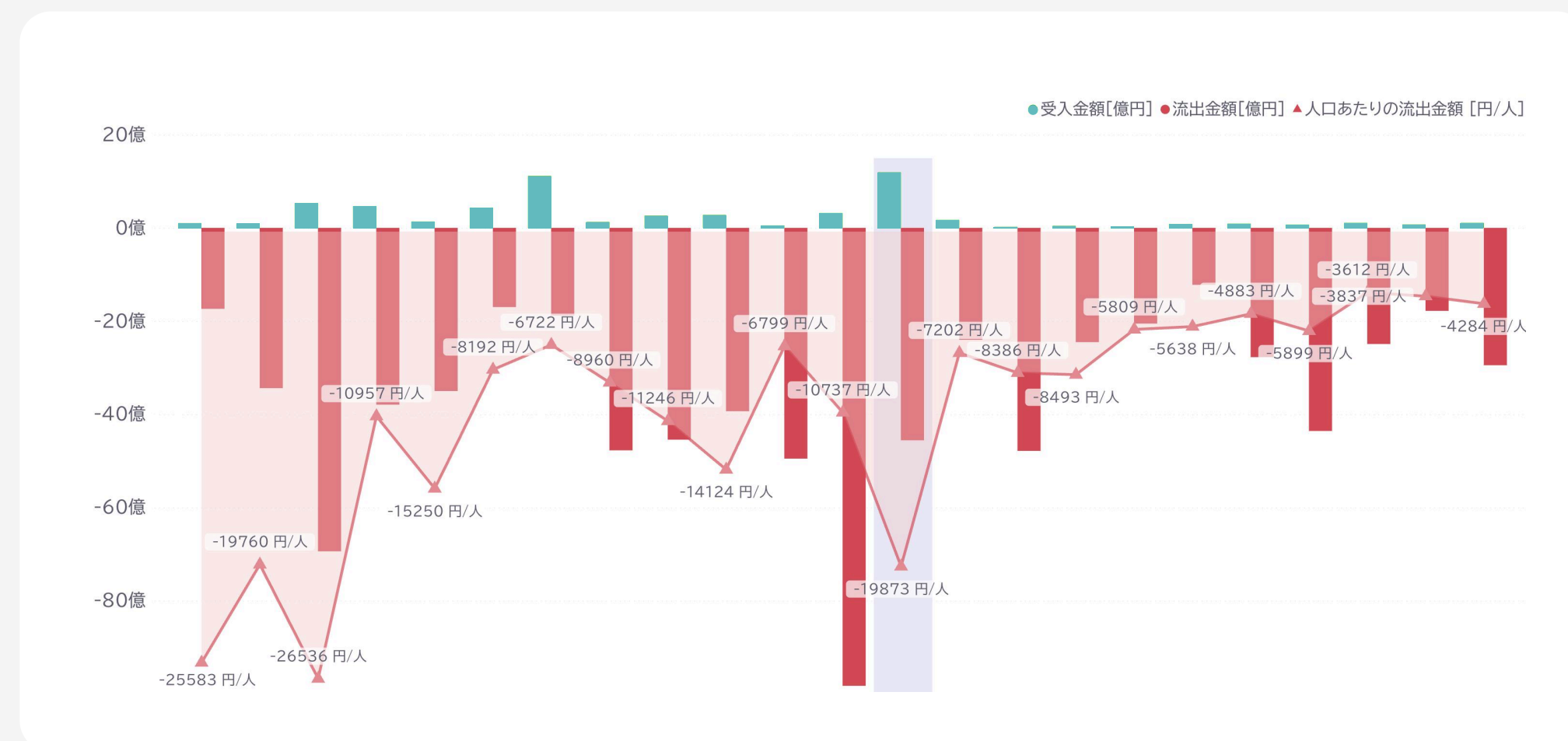
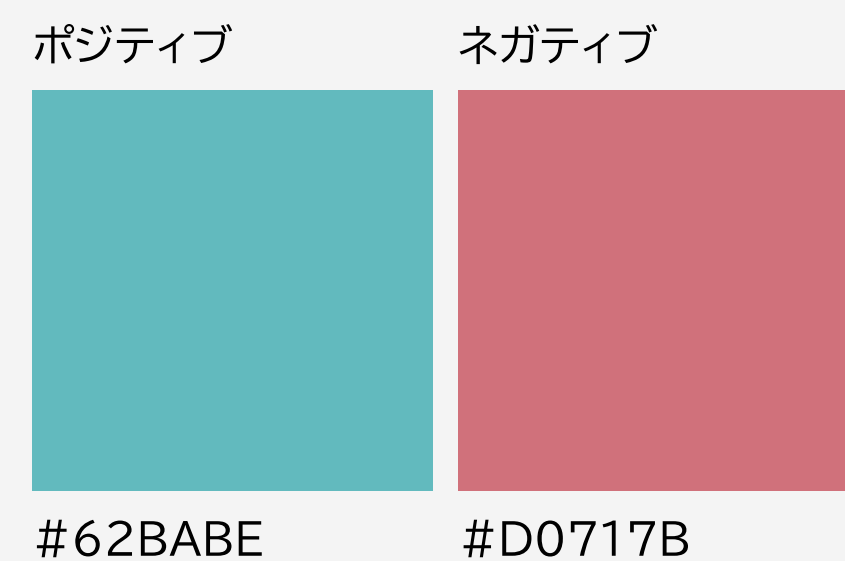
## 4. 可視化の表現 | ポジネガカラー

成果や事実に基づくデータを、ポジティブ・ネガティブで明確に評価したい場合には、緑と赤の配色を用います。一般的な認知のされ方を利用することで、直感的かつ強力にポジティブ・ネガティブの印象を与えます。

例えば、「赤字・黒字の財務状況」「達成／未達の業績指標」といった、ポジティブ・ネガティブが明示的なデータにおいて効果を発揮します。

ただし、色の意味が強く印象への影響も大きいため、評価が分かれるような曖昧なテーマ、主観的な要素が強いテーマにおいては2方向スケールの使用を推奨します。場面に応じて、使い分けを意識してください。

(参考：p34「4. 可視化の表現 | 2方向スケールカラー」)



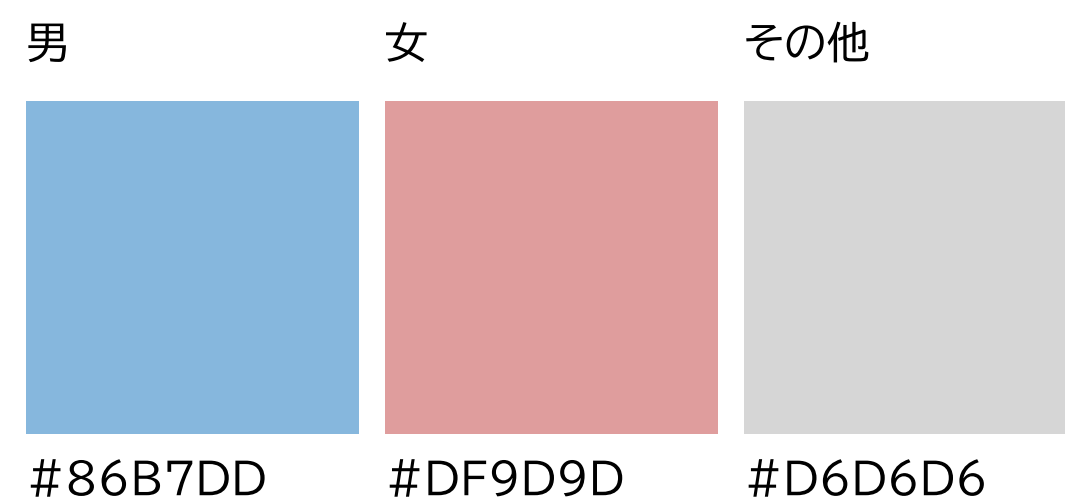


## 4. 可視化の表現 | +α 特殊カラー

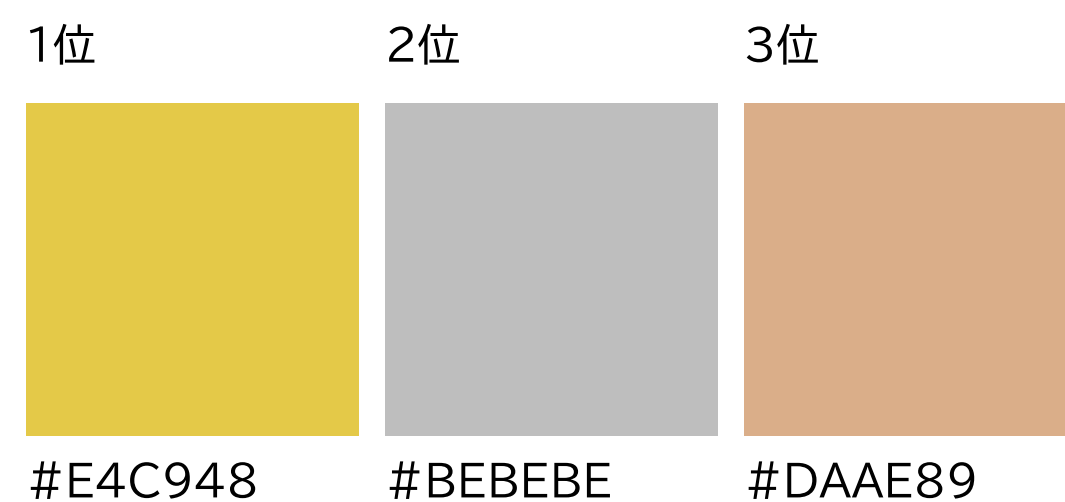
特定の社会的意味や一般認知を持つカラーを使用すると、より伝わりやすくなる場合があります。ジェンダーカラーや、電車のブランドカラーなどが該当します。

他の可視化とのバランスを踏まえ、使用の検討をしてください。

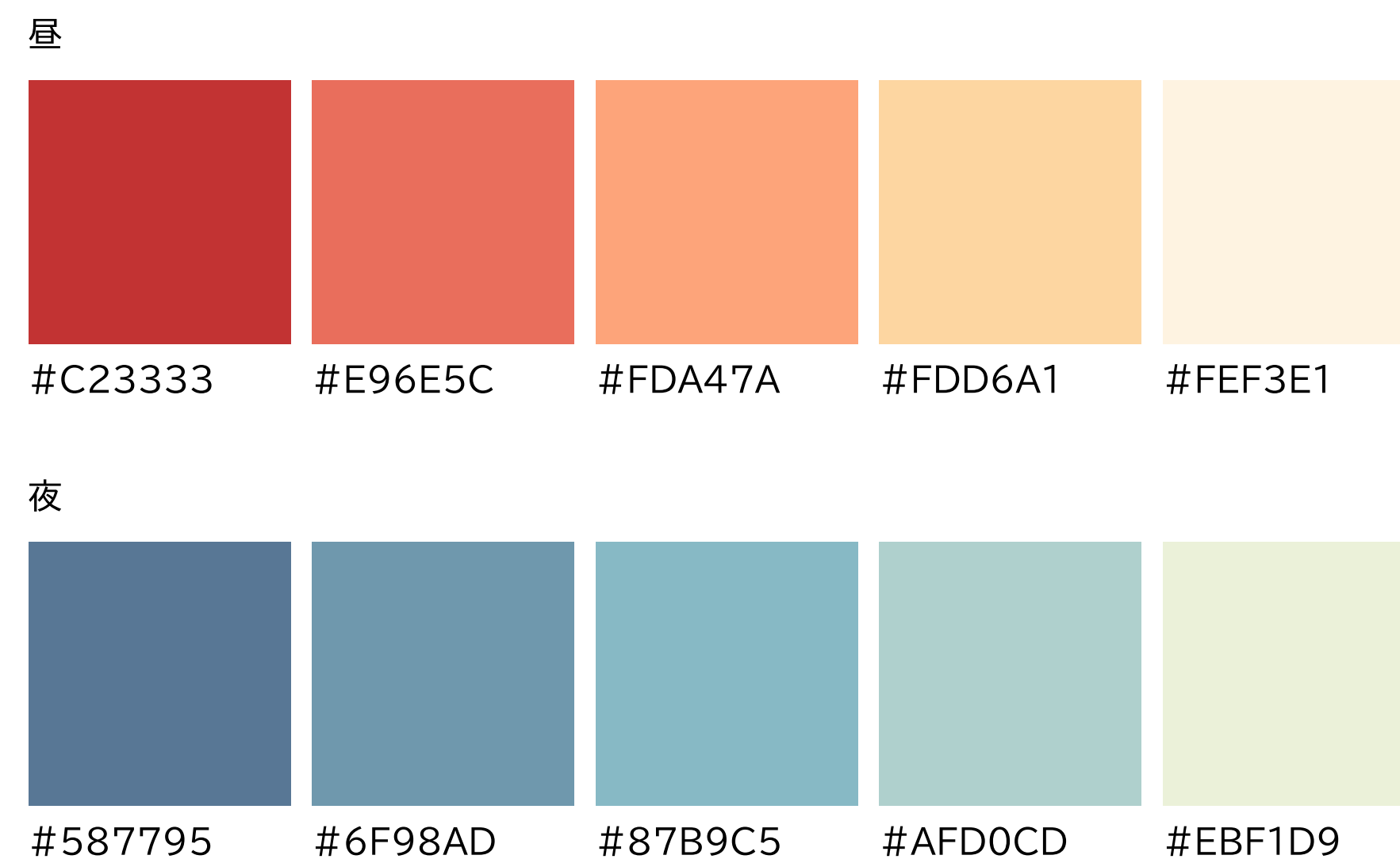
### 性別の表現



### ランキングの表現



### 時間帯の表現



# 5. ライティング

Writing

## 5. ライティング | 共通ルール

SHIBUYA CITY DASHBOARDは、渋谷区民を中心に幅広いターゲットへ向けて発信しています。

多くの人に伝わるよう、下記方針をもとにやさしいライティングを心がけましょう。

### タイトルは体言止めで、簡潔に

一目見て認識できるよう、簡潔な体言止めで表現します。

「ハチ公バス利用者はどれくらいいるの？」→「ハチ公バス利用者数」

### 長文テキストはです・ます調で、丁寧に

利用者が読みやすくなるよう、丁寧に語りかけるようなです・ます調で表現します。

「～～可視化を示した。」→「～～可視化を示しました。」

### 難しい言い回しはできるだけ避ける

正確で厳密な表現にこだわりすぎず、利用者に伝わるかどうかを重要視します。聞き慣れない表現については、可能な範囲での言い換えを検討してください。

「渋谷区のハチ公バス乗降客数」→「ハチ公バス利用者数」

### 漢字とひらがなは程よく混ぜる

漢字だけ・ひらがなだけが詰まった文章は視認しづらく、利用者の負担になります。言い換えの効くものは調整をかけ、漢字とひらがなが程よく交ざった文章を目指してください。

「年度別実績値」→「年度ごとの実績値」

### 文字数はできるだけ減らす

人が1度に知覚できる範囲は13文字程までとされています。伝えたいことがきちんと伝わる範囲で、文字数を減らすよう整理を心がけてください。

「渋谷区のハチ公バス乗降客数のあらまし」→「ハチ公バス利用者数」

### 音読をして再確認する

多くの場合、人は黙読する時にも脳内で音読をしています。音読のしやすさ＝読みやすさでもあるため、音読することで文章の読みやすさを確認し直すことができます。

句読点の位置が不自然／同じ語尾が連続している／1つの文章が長すぎる etc...

### 英訳の表記揺れに気をつける

タイトルにつく英訳の表記揺れに気をつけます。例えば、渋谷区は下記にて表記を固定しています。

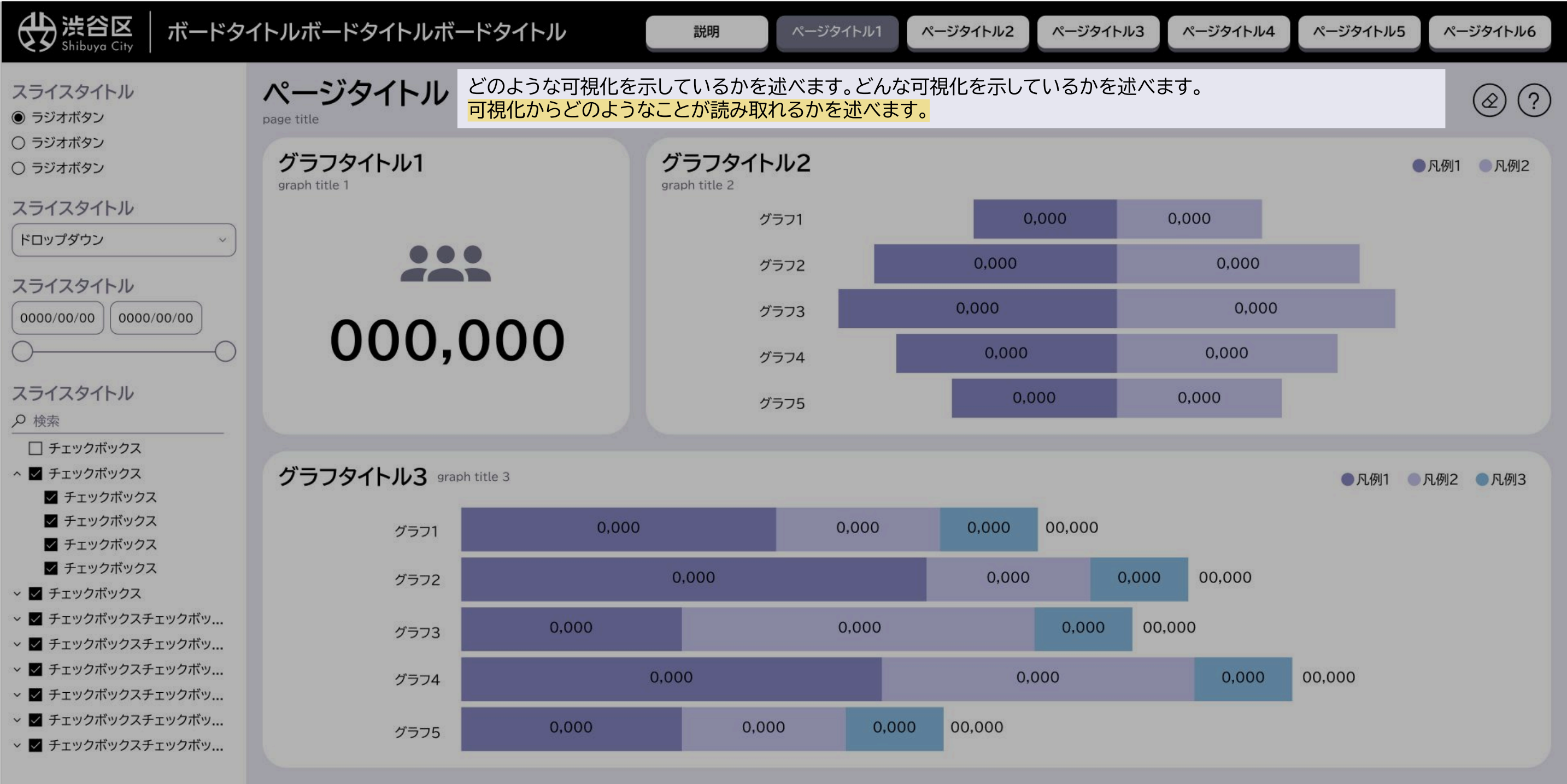
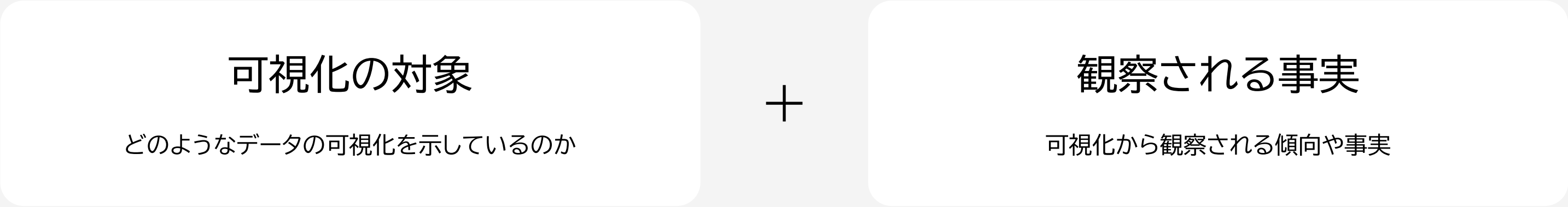
Shibuya Ward(渋谷区) → Shibuya City(渋谷区)



# 5. ライティング | 可視化ページの概要文

可視化ページには、可視化の訴求を補強するために必ず「概要文」を設置します。  
基本的には、そのページにおける「可視化の対象」と「可視化から観察される事実」を記述します。

特に強調したい内容の場合は、ハイライトを使用します。  
(参考： p44 「6. フォントサイズ・カラー | 共通ルール」)



# 6. フォントのサイズ・カラー調整

Font Size & Color Adjustment

# 6. フォントのサイズ・カラー調整 | 共通ルール

SHIBUYA CITY DASHBOARDデザインテンプレートに適したフォントサイズ・カラーに調整するための共通ルールを示します。

## 最小サイズは13px

- ・ 可読性を保つため、最小でも13pxは下回らないようにします。
- ・ 例外的に13pxを下回る場合や、13px以上を守ることによって文章が見切れる場合などは、マウスオーバー機能で内容をフォローできているかどうかの確認をしながら慎重に進めてください。

施設名

検索

☐ LINE CUBE SHIBUYA(渋谷区)

☐ YCC 代々木八幡区民会館

☐ かなみの村・渋谷

トイレの位置等を音声案内している

LINE CUBE SHIBUYA (渋谷公会堂)

見切れていてもある程度わかる

マウスオーバーでフォローできている

## フォントサイズの未反映に注意

- ・ 「!」マークが表示されている場合は、設定したフォントサイズが反映されていません。
- ・ ビジュアルを拡大、もしくはレスポンスをオフにするか、例外的にフォントサイズを13pxより下げる検討をします。

ビジュアル 全般 ...

> X 軸

凡例のフォントが縮小しました  
このビジュアルはレスポンスです。凡例のフォントを元のサイズに戻すには、ビジュアルを拡大してください。

> 凡例

dim\_calender\_year

dim\_shibuya\_age

dim\_shibuya\_area

fact\_外国人観光客

fact\_外国人観光客

ビジュアル 全般 ...

20 20 20

詳細設定オプション

レスポンス

レイヤーの順序の...

## 書式設定のリセットに注意

- ・ テンプレートにて書式設定はされていますが、追加でテキストをペーストすると、書式設定がリセットされてしまいます。
- ・ 想定通りの書式設定が当たっているかどうか、改めて確認をするようにしてください。

人口 Population Population

230,456

追加でペーストした部分の色が違っている

## 長文はフォントを「Arial」に変更

- ・ 3行以上を目安に、長文に関してはフォントを「Arial」に変更します。
- ・ 行間を広げることを目的とした局所的な対応になります。指定フォント「UD BIZ」は行間が狭いので、長文になると可読性が下がってしまいます。現状PowerBIには行間を設定できる機能がないため、フォントごと変えてしまう対応を取ります。

×

サンプルテキスト  
サンプルテキスト  
サンプルテキスト  
サンプルテキスト  
サンプルテキスト  
サンプルテキスト

→

✓

サンプルテキスト  
サンプルテキスト  
サンプルテキスト  
サンプルテキスト  
サンプルテキスト  
サンプルテキスト



## 6. フォントのサイズ・カラー調整 | 共通ルール

SHIBUYA CITY DASHBOARDデザインテンプレートに適したフォントサイズ・カラーに調整するための共通ルールを示します。

### アクセント表現

- ・ 目立たせたいテキストにはアクセントカラー(● #EED94)のシェイプを配置します。
- ・ シェイプは文字の後ろに配置するようにします。透明度は100%にし、テキストの上に被せないように注意してください。
- ・ 過剰に使用するとアクセントの役割を果たさなくなってしまうので、本当に目立たせたいところのみ使うようにします。

サンプルテキスト **重要なテキスト** サンプルテキスト サンプル

### リンク表現

- ・ リンクを記述する際は、下記のように表現します。

テキストに埋め込み + リンクカラー(● #4D65CB) + 下線

サンプルリンクサンプルリンクサンプルリンク



# 6. フォントのサイズ・カラー調整 | フォントサイズの使い分け

フォントサイズは、大まかには5種類を使い分けます。フォントサイズを分けることで、画面にメリハリができて、必要な情報が入ってきやすくなります。

次ページ以降を参照しながら、フォントサイズとカラーを設定してください。

44~54px

渋谷区

28px

渋谷区

18~20px

渋谷区

16px

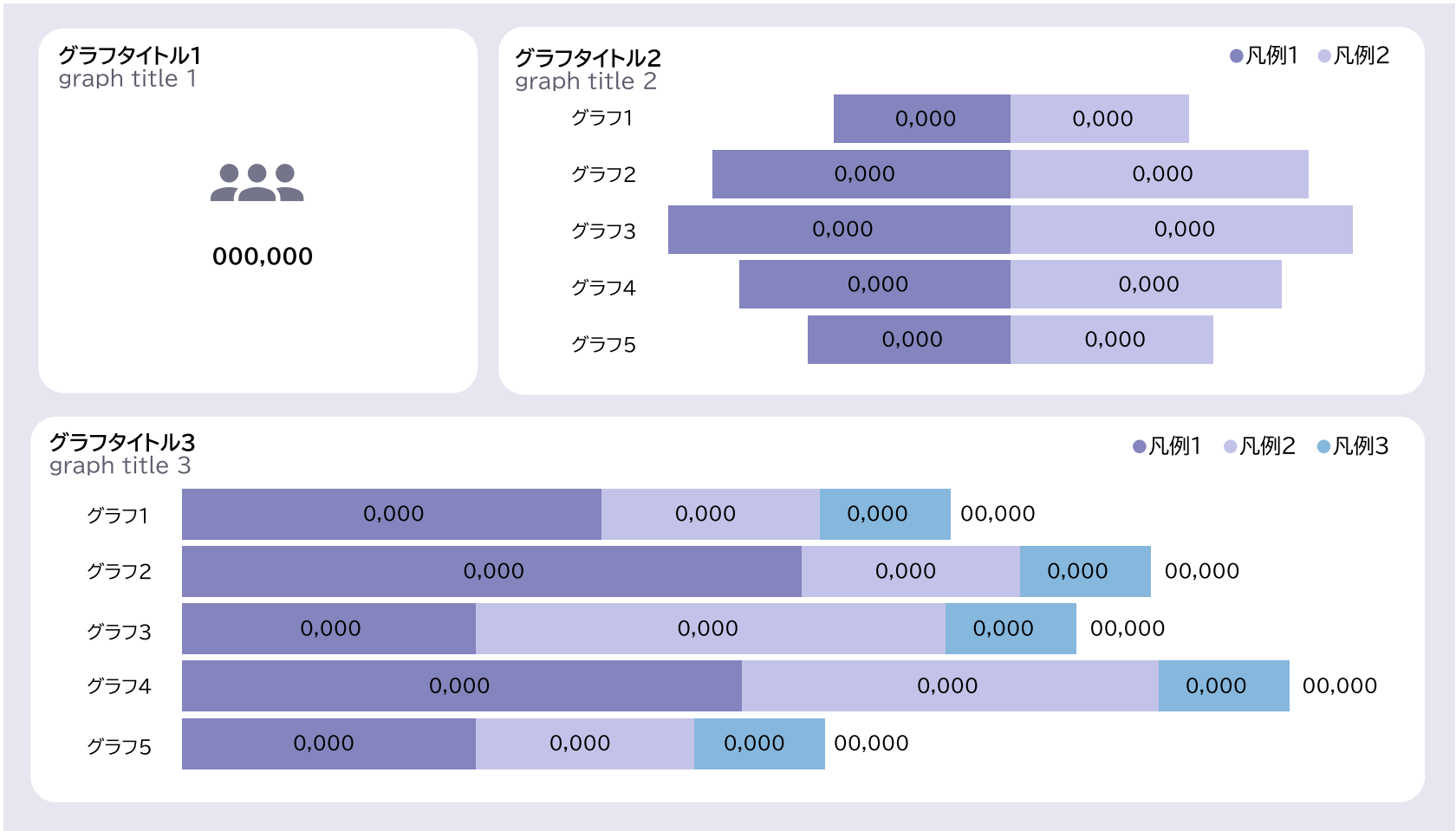
渋谷区

13px

渋谷区

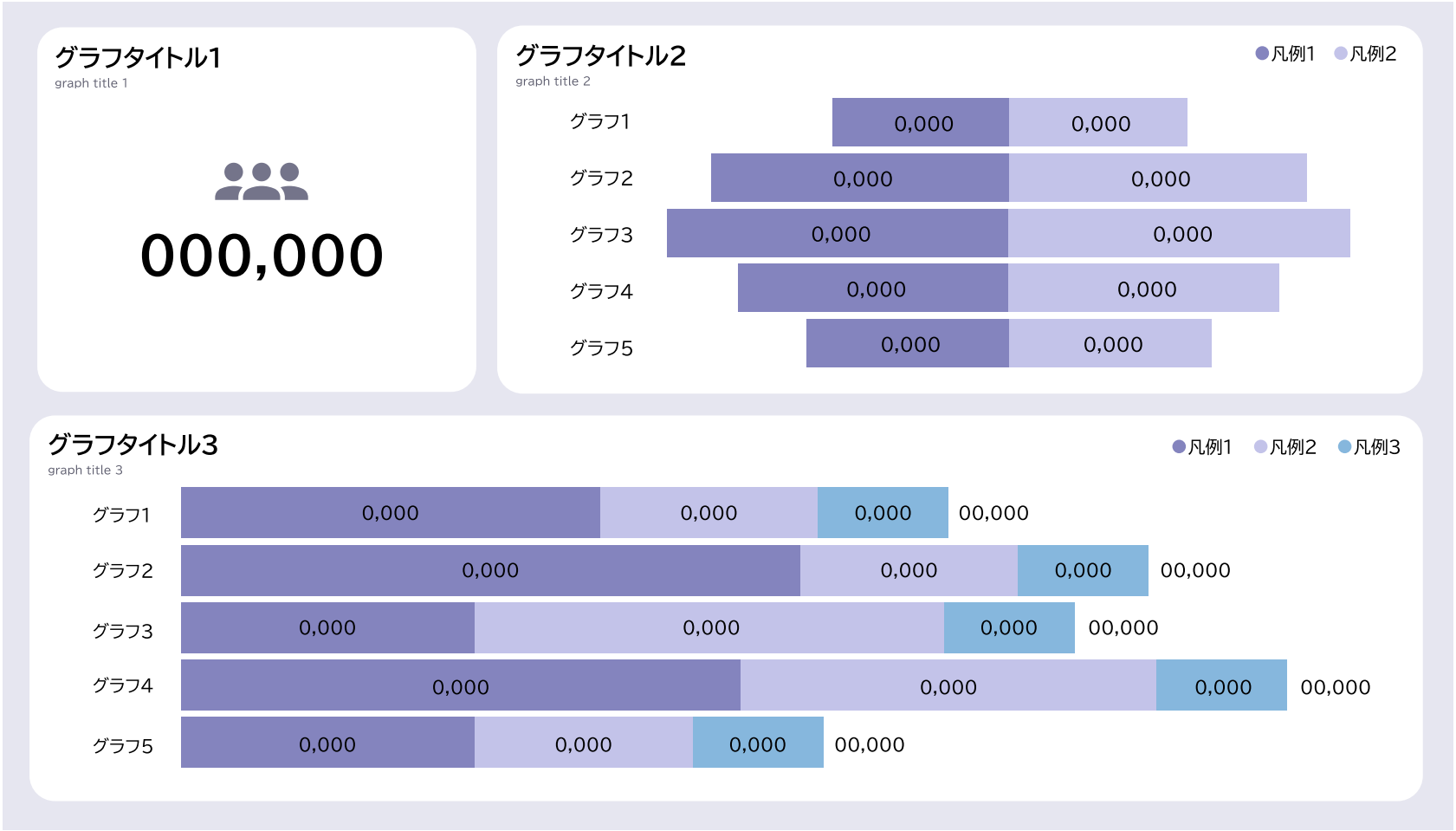
✖

フォントサイズを分けない

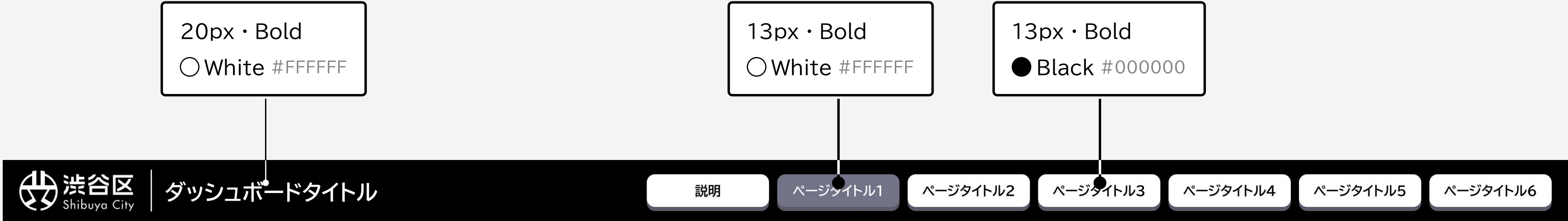


✔

フォントサイズを分ける



# 6. フォントのサイズ・カラー調整 | ヘッダー



## 6. フォントのサイズ・カラー調整 | 表紙





# 6. フォントのサイズ・カラー調整 | 可視化ページ

16px・Bold  
● Deep Gray #74748A

28px・Bold  
● Black #000000

18~20px・Regular  
● Black #000000

10px・Regular  
● More Deep Gray #5D5D6E

34-54px・Bold  
● Black #000000

20px・Bold  
● Black #000000

13px・Regular  
● Black #000000

13px・Regular  
● More Deep Gray #5D5D6E

スライスタイトル  
● ラジオボタン  
○ ラジオボタン  
○ ラジオボタン

13px・Regular  
● Black #000000

0000/00/00 0000/00/00

スライスタイトル  
検索

☐ チェックボックス  
^ ☒ チェックボックス  
  ☒ チェックボックス  
  ☒ チェックボックス  
  ☒ チェックボックス  
  ☒ チェックボックス  
v ☒ チェックボックス  
v ☒ チェックボックス  
v ☒ チェックボックス  
v ☒ チェックボックス  
v ☒ チェックボックス  
v ☒ チェックボックス  
v ☒ チェックボックス  
v ☒ チェックボックス

ページタイトル1 ページタイトル2 ページタイトル3 ページタイトル4 ページタイトル5 ページタイトル6

ページタイトル  
page title

ここに概要文が入ります。現在は約80字程度が入っています。目安としてご参考ください。これはサンプルテキストです。これはサンプルテキストです。これはサンプルテキストです。これはサンプルテキストです。

グラフタイトル1  
graph title

000,000

グラフ2

グラフ5

グラフタイトル3  
graph title 3

グラフ1

グラフ2

グラフ3

グラフ4

グラフ5

SHIBUYA CITY DASHBOARD Design Guidelines

48



# 6. フォントのサイズ・カラー調整 | ヘルプページ



# 7. 位置調整

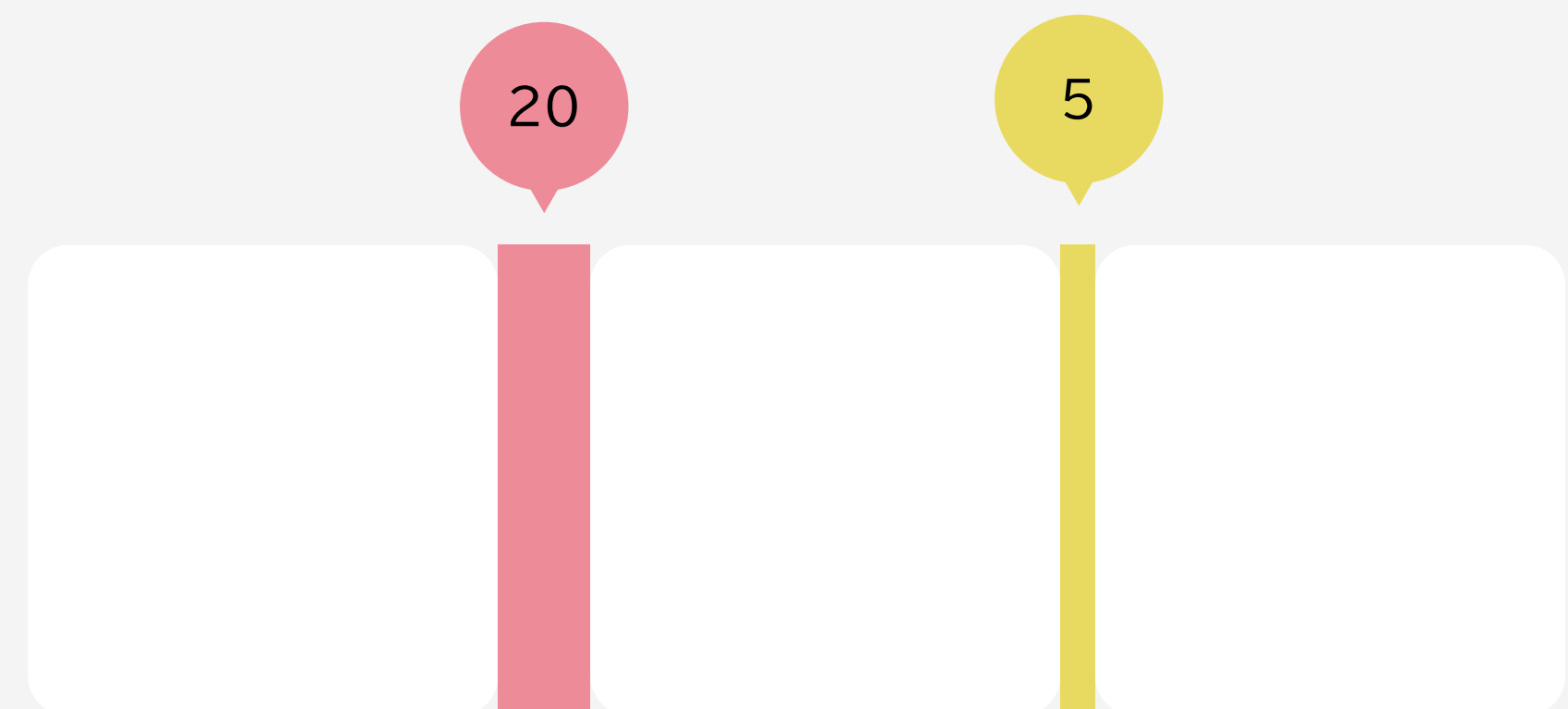
Layout & Positioning

## 7. 位置調整 | パディングの重要性

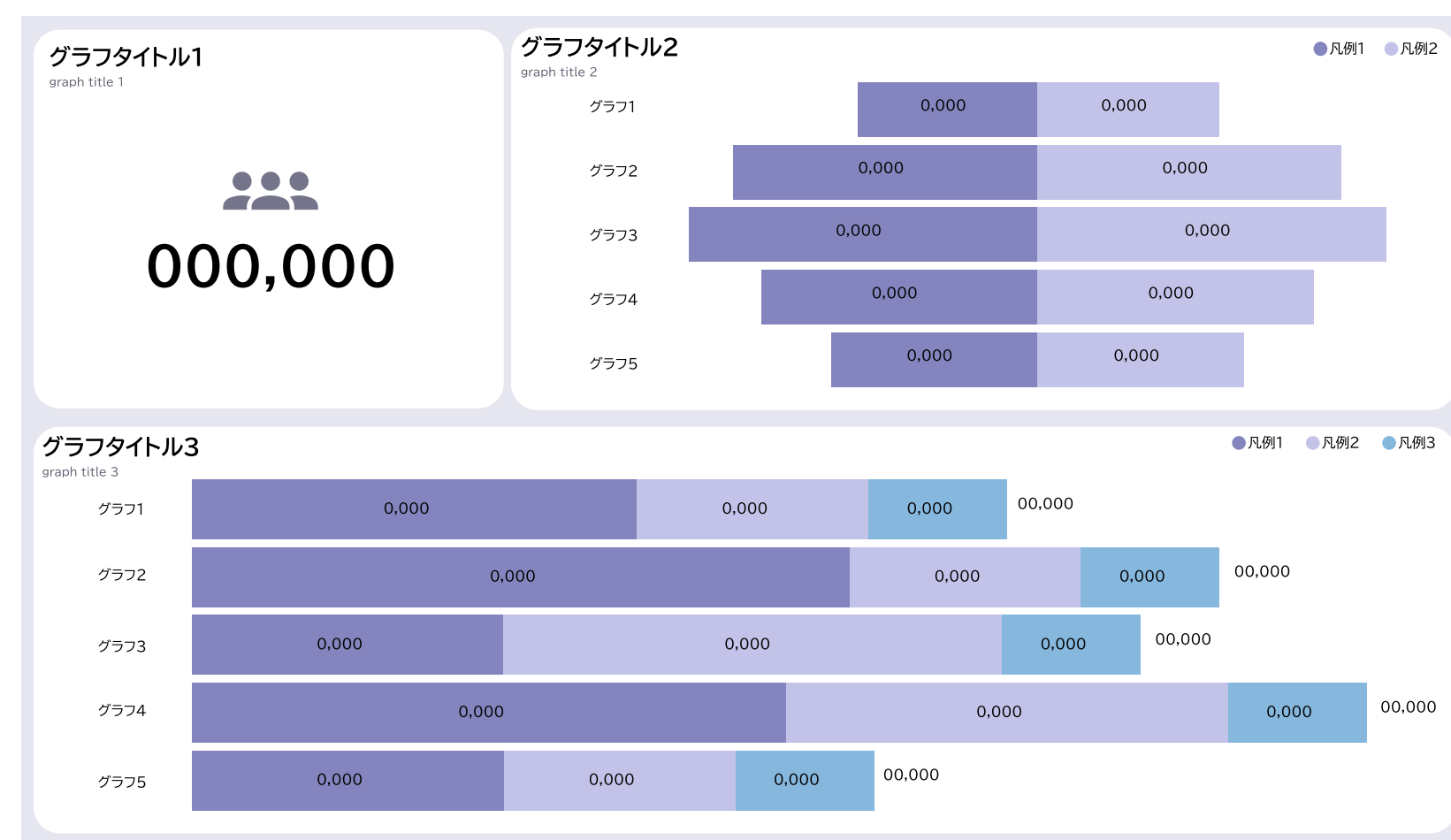
位置調整において重要なのがパディング設定。パディングとは余白のことです。パディングを適切に設定することで、ダッシュボードはより見やすく、洗練された見た目になります。

本ガイドラインでは、右記パディング数値を基準に、各要素の配置目安を示します。要素ごとにパディングを設定してから、位置・サイズを調整するとスムーズです。

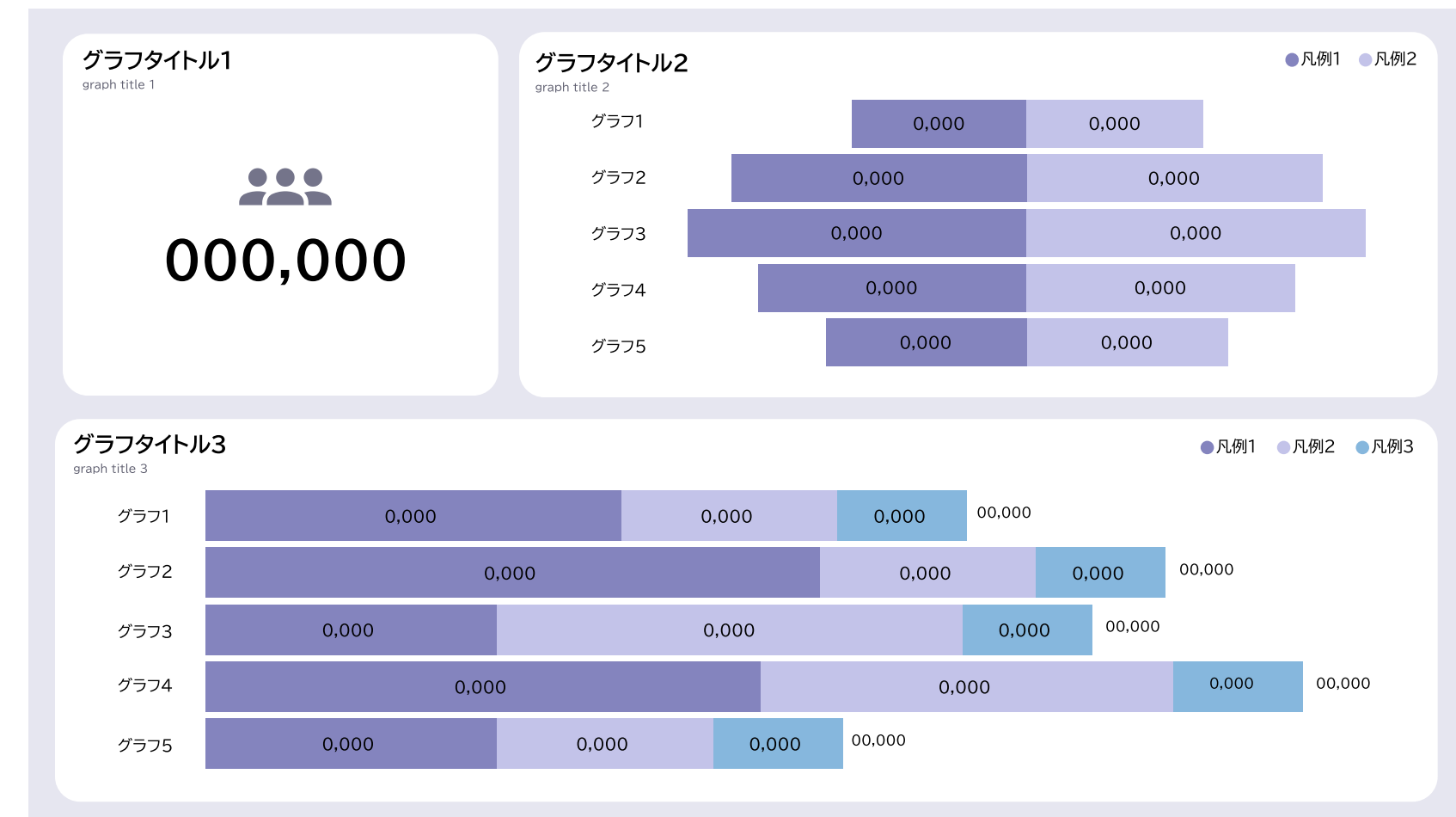
細かな作業になるので、プロトタイプがまとまってから着手するようにしましょう。



### × なんとなくでの配置



### ✓ 丁寧な位置調整





## 7. 位置調整 | 共通ルール

SHIBUYA CITY DASHBOARDデザインテンプレートにおける位置調整に関連する共通ルールを示します。

### パディングを活用する

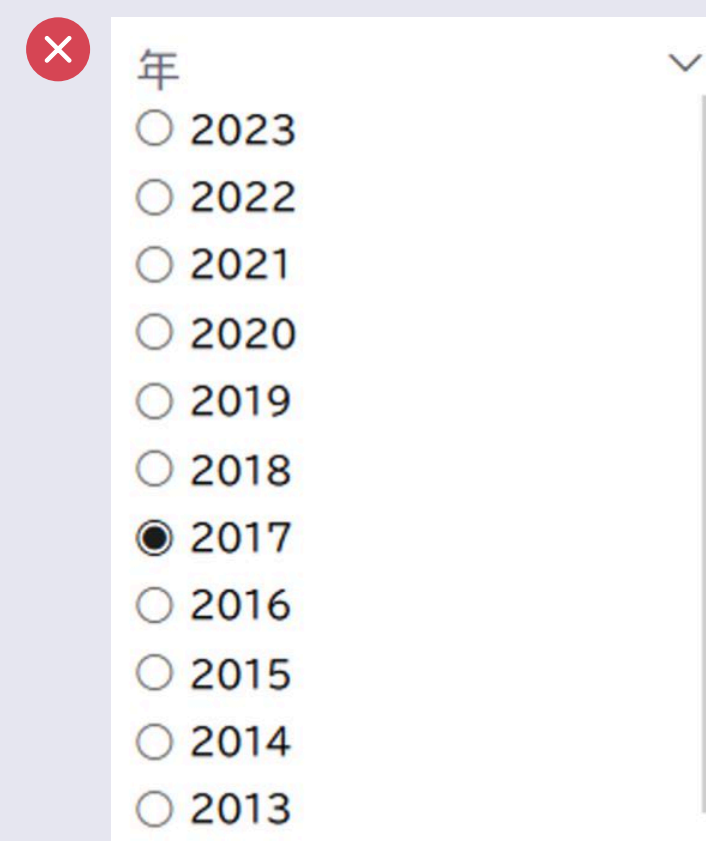
- ・ 配置を調整するには、サイズや位置だけでなく「パディング」を確認してください。
- ・ パディングとは要素内に配置される余白のことで、活用することで均等な配置に役立っています。
- ・ 新しく画像素材を挿入した際には、自動でパディングが設定される仕様になっています。



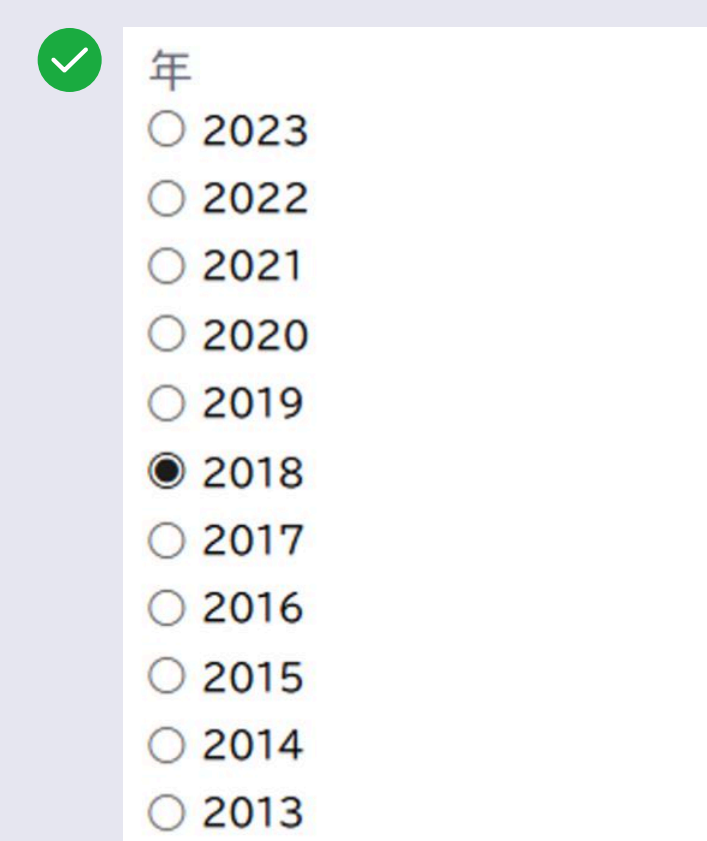
要素を目一杯表示するために、パディングを0に設定している

### 不要なスクロールバーが出ないようにする

- ・ 領域を要素ギリギリに狭めるとスクロールバーが表示されてしまいます。
- ・ スクロールバーが不要な場合は、表示されないように領域を広げる調整して下さい。



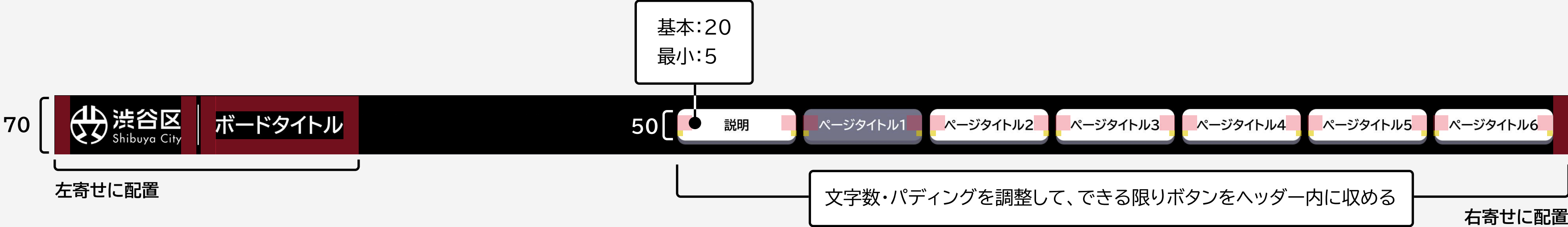
要素が全て見えているのに  
スクロールバーが表示されている



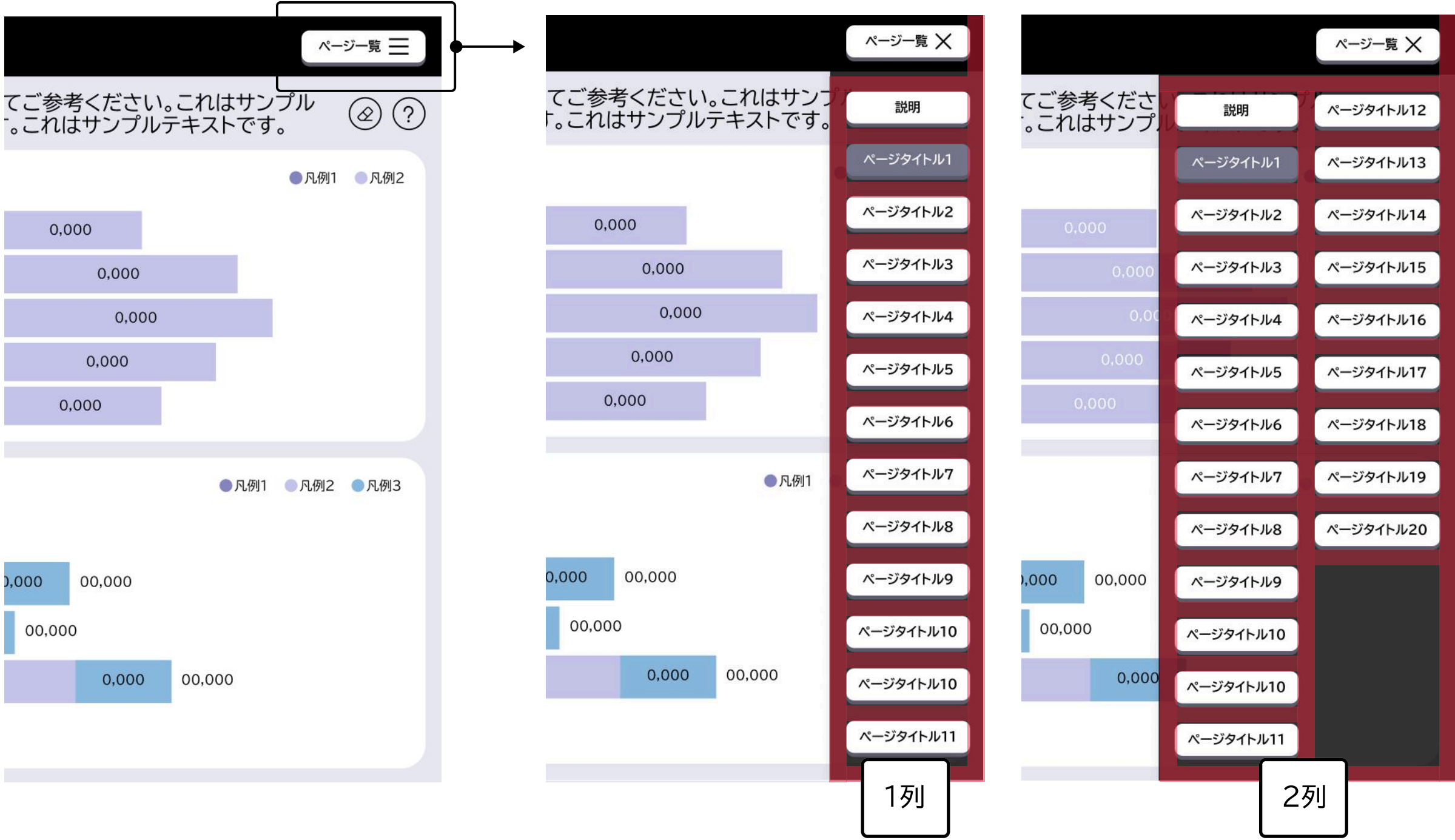
領域を広げると  
スクロールバーが消える



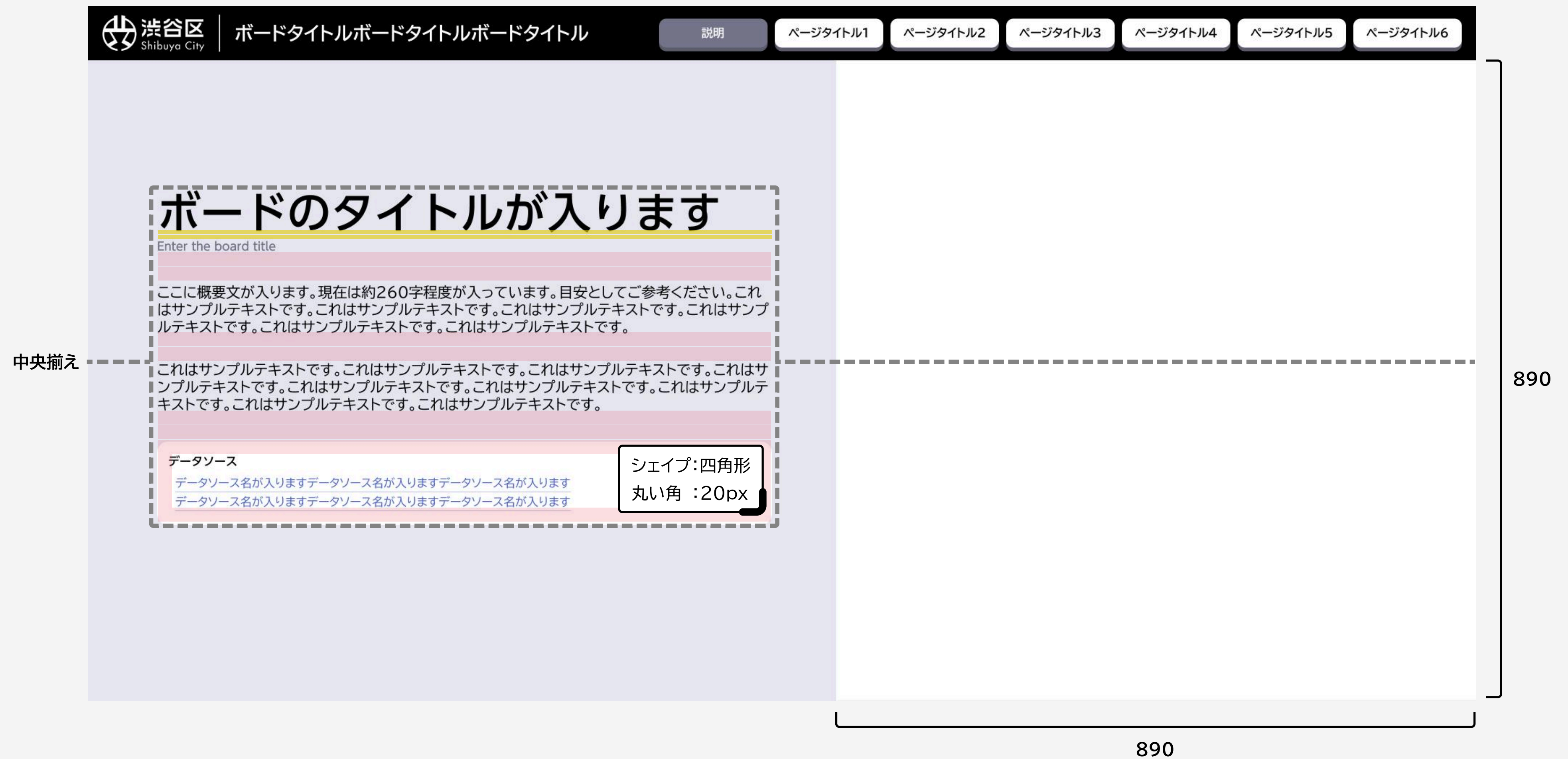
# 7. 位置調整 | ヘッダー



どうしても収まらない場合は、ハンバーガーメニューを適用する(参考：p22「3. 構成 | テンプレートの使い分け」)



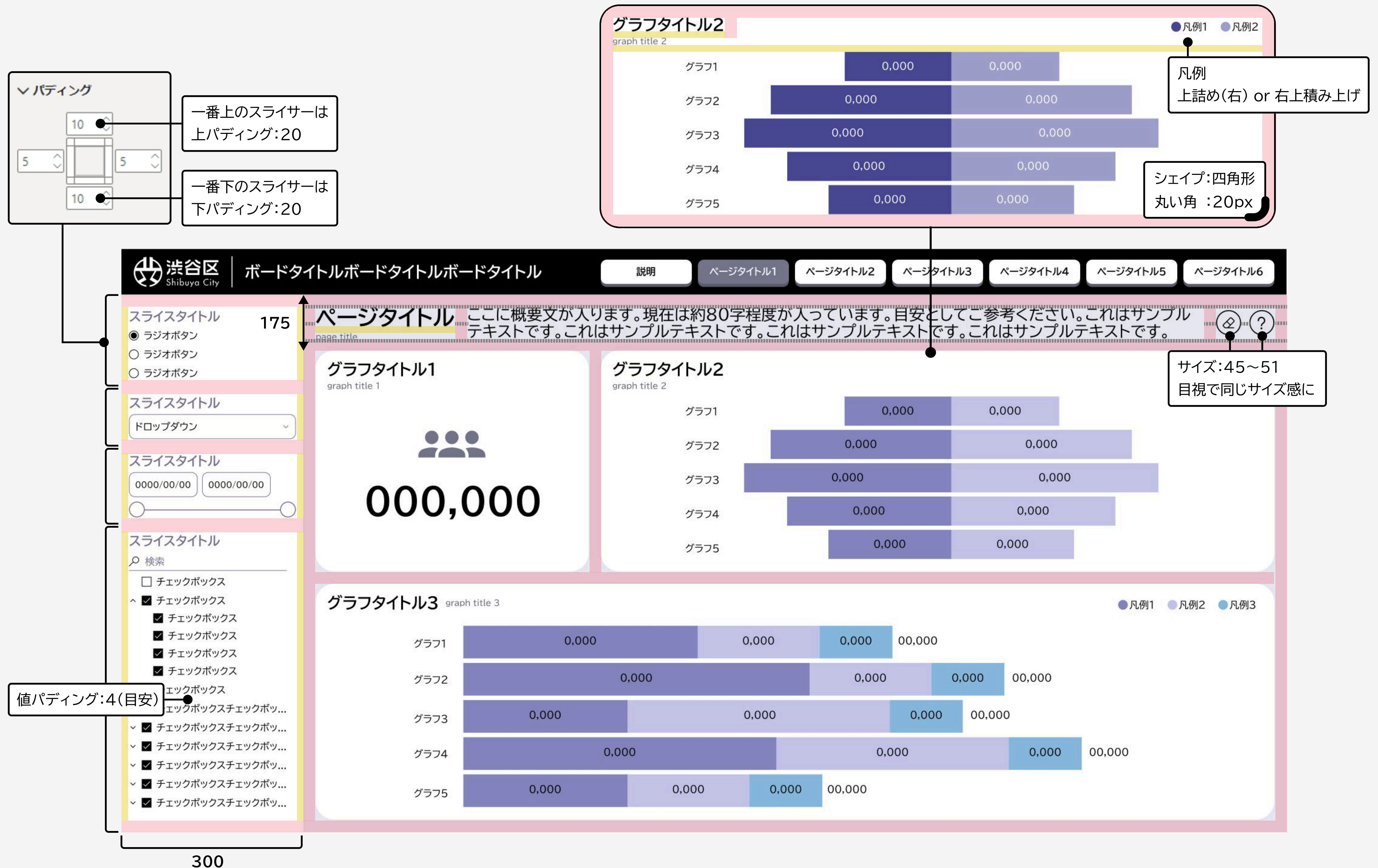
## 7. 位置調整 | 表紙





## 7. 位置調整 | 可視化ページ

パディング目安 20 5

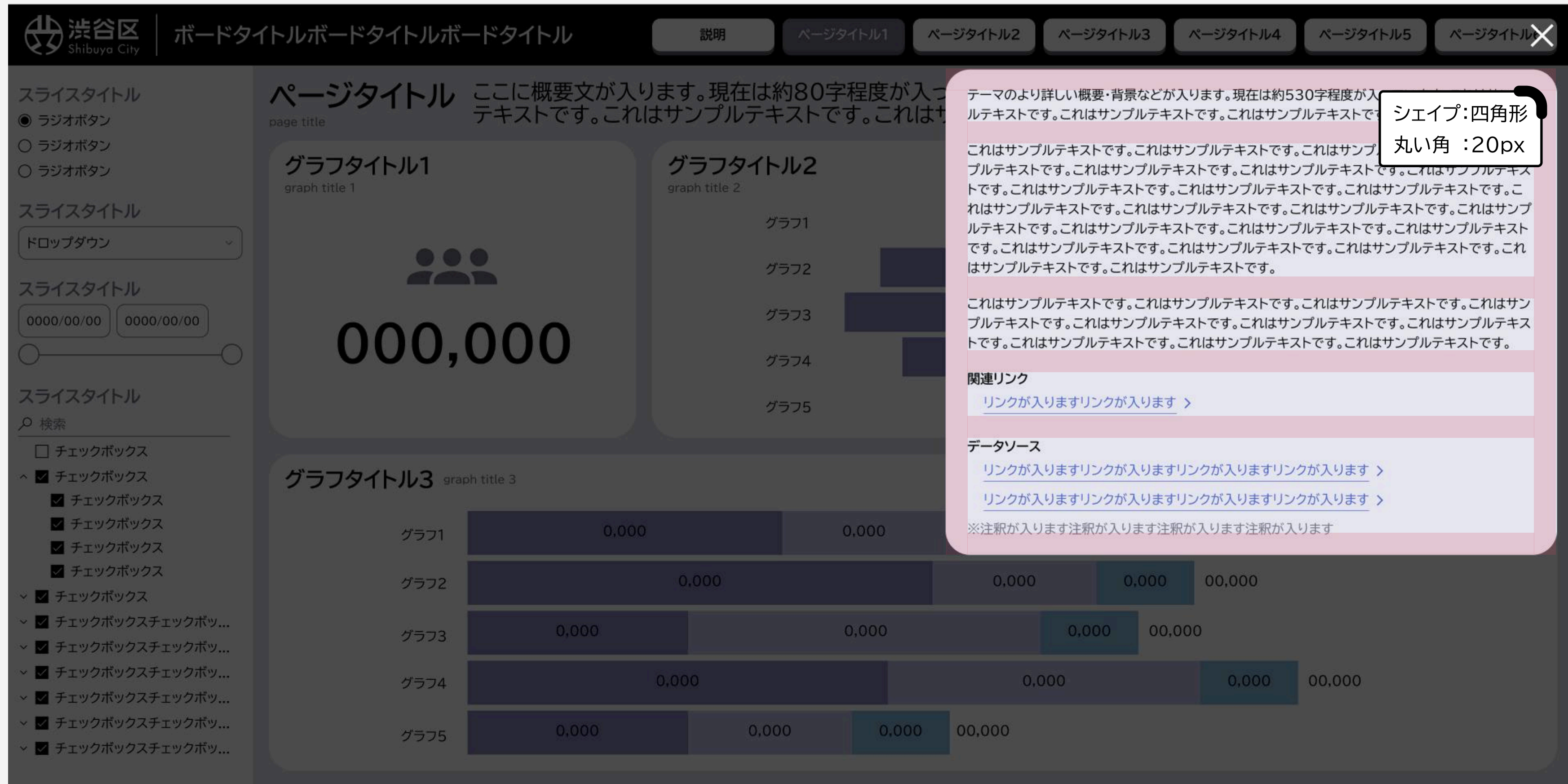




## 7. 位置調整 | ヘルプページ

## パディング目安

20





# 8. 公開前の仕上げ

Final Touches Before Publishing

## 8. 公開前の仕上げ | チェックリスト

下記項目を参考に、最終確認を行なってください。

ビジュアルガイドラインについてはボリュームが多いので各校の冒頭にある共通ルールだけでも確認できると安心です。

### 基本チェック

- ☐ 誤字・脱字はないか。
- ☐ データは適切なものになっているか。
- ☐ ナビゲーションのページ遷移に問題はないか。
- ☐ マウスオーバーの挙動に問題はないか。
- ☐ スライダーと可視化の挙動に問題はないか。
- ☐ ヘルプページの表示に問題はないか。
- ☐ 外部リンクは正しく指定されているか。
- ☐ 使用している画像素材のライセンスに問題はないか。
- ☐ 無駄なデータが含まれていないか。
- ☐ 閲覧が表紙からはじまるようになっているか。  
(保存を行った位置からはじまります)

### ビジュアルガイドライン

- ☐ 可視化の表現は適切か。 \_\_\_\_\_ p23～
- ☐ ライティングは適切か。 \_\_\_\_\_ p39～
- ☐ フォントサイズ・カラーは適切か。 \_\_\_\_\_ p42～
- ☐ 位置は適切か。 \_\_\_\_\_ p50～

### クオリティチェック

- ☐ 作成者本人以外の複数人が確認し、フィードバックを行ったか。
- ☐ 利用者が見たいと思われる、もしくは区が見せたい情報に、優先的に目がいくようになっているか。
- ☐ ミスリードを誘うような表現になっていないか。